
第 7 回 大 山 町 議 会 定 例 会 議 録 (第 2 日)

平成 29 年 9 月 7 日 (木 曜 日)

議 事 日 程

平成 29 年 9 月 7 日 (木 曜 日) 午 前 9 時 30 分 開 会

1. 開議宣告

- 日程第 1 議案第 101 号 大山町介護保険条例の一部を改正する条例について
- 日程第 2 議案第 102 号 平成 28 年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 3 議案第 103 号 平成 28 年度大山町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 4 議案第 104 号 平成 28 年度大山町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 5 議案第 105 号 平成 28 年度大山町開拓専用水道特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 6 議案第 106 号 平成 28 年度大山町夕陽の丘神田特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 7 議案第 107 号 平成 28 年度大山町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 8 議案第 108 号 平成 28 年度大山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 9 議案第 109 号 平成 28 年度大山町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 10 議案第 110 号 平成 28 年度大山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 11 議案第 111 号 平成 28 年度大山町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 12 議案第 112 号 平成 28 年度大山町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 13 議案第 113 号 平成 28 年度大山町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 14 議案第 114 号 平成 28 年度大山町風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について

- 日程第 15 議案第 115 号 平成 28 年度大山町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 16 議案第 116 号 平成 28 年度大山町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 17 議案第 117 号 平成 28 年度大山町索道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第 18 議案第 118 号 平成 28 年度大山町水道事業会計決算の認定について
- 日程第 19 特別委員会の設置及び付託
- 日程第 20 特別委員会委員長及び副委員長の互選結果の報告
- 日程第 21 議案第 119 号 平成 29 年度大山町一般会計補正予算(第 2 号)
- 日程第 22 議案第 120 号 平成 29 年度大山町開拓専用水道特別会計補正予算(第 1 号)
- 日程第 23 議案第 121 号 平成 29 年度大山町夕陽の丘神田特別会計補正予算(第 1 号)
- 日程第 24 議案第 122 号 平成 29 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算
(第 1 号)
- 日程第 25 議案第 123 号 平成 29 年度大山町介護保険特別会計補正予算(第 2 号)
- 日程第 26 議案第 124 号 平成 29 年度大山町公共下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)
- 日程第 27 議案第 125 号 平成 29 年度大山町水道事業会計補正予算(第 2 号)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員(16名)

1 番 森 本 貴 之	2 番 池 田 幸 恵
3 番 門 脇 輝 明	4 番 加 藤 紀 之
5 番 大 原 広 巳	6 番 大 杖 正 彦
7 番 米 本 隆 記	8 番 大 森 正 治
9 番 野 口 昌 作	10 番 近 藤 大 介
11 番 西 尾 寿 博	12 番 吉 原 美 智 恵
13 番 岡 田 聰	14 番 野 口 俊 明
15 番 西 山 富 三 郎	16 番 杉 谷 洋 一

欠席議員(なし)

欠員(なし)

事務局出席職員職氏名

局長 …………… 手島千津夫 書記 …………… 関真弓

説明のため出席した者の職氏名

町長 ……………	竹口大紀	教育長 ……………	鷲見寛幸
副町長 ……………	野間一成	教育次長……………	佐藤康隆
総務課長 ……………	野坂友晴	幼児・学校教育課長 ………	森田典子
総務課参事……………	金田茂之	人権・社会教育課長 ………	西尾秀道
税務課長……………	遠藤忠敏	企画情報課長 ………………	井上龍
住民生活課長……………	山岡浩義	企画情報課参事 ……………	大黒辰信
建設課長 ……………	大前満	水道課長 ………………	野口尚登
農林水産課長……………	末次四郎	農業委員会事務局……………	田中延明
福祉介護課長 ……………	松田博明	健康対策課長 ………………	後藤英紀
観光商工課長 ……………	持田隆昌	会計管理者……………	岡田栄
地籍調査課長 ……………	白石貴和	代表監査委員……………	石黒澄男

午前 9 時 30 分開会

開議宣告

- 議長(杉谷 洋一君) ただいまの出席議員は 16 人です。
定足数に達しておりますので、これから、本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。
-

日程第 1 議案第 101 号

- 議長(杉谷 洋一君) 日程第 1、議案第 101 号 大山町介護保険条例の一部を改正する条例についてを議題にします。
これから質疑を行います。質疑はありますか。
- 議員(9 番 野口 昌作君) 議長、9 番。
- 議長(杉谷 洋一君) 9 番 野口昌作議員。
- 議員(9 番 野口 昌作君) この介護保険条例の一部を改正する条例でございますけれども、これ被保険者の配偶者ということにすると、第 1 号被保険者を被保険者の配偶者にするというところでございますけれども、殆ど変わらないような状況のなかではあるとは思いますが、なぜこういうような改正を行わなければならないことになっているかということをお尋ねします。

[「教民」と呼ぶ者あり]

- 議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。
- 町長(竹口 大紀君) 議長、担当課からお答えします。
- 福祉介護課長(松田 博明君) 議長、福祉介護課長。
- 議長(杉谷 洋一君) 松田福祉介護課長。
- 福祉介護課長(松田 博明君) 野口議員のご質問にお答えいたします。今回の条例改正にかかるところの第1号被保険者の関係でございますが、これまでは、第1号被保険者及びその配偶者並びに家族ですが、これまで該当としてあっていましたが、第2号被保険者の配偶者及び世帯の家族が対象になっておりませんでした。で、これは国からも異論があるということで、同じ、罰則を適用するならば1号2号関係なく、保険者並びに配偶者、それから世帯の家族ですね、を対象にすべきでないかということで、この度第2号被保険者の配偶者やその世帯等も対象とすることで、条文の改正を提案したところでございます。
- 議員(9番 野口 昌作君) 議長、9番。
- 議長(杉谷 洋一君) ちょっと、野口さんにご注意申し上げます。先ほど私もボーとしておりまして担当の常任委員会ですので、その辺りは考えてもう一回。
[「条例だけ関係ないでしょ」「おかしいよ」と呼ぶ者あり]
- 議長(杉谷 洋一君) 条例も一緒じゃないですか。一緒で。まあということで、そのあたりはしっかり常任委員会のほうで質疑もお願いします。はい、まあ続けてください。
- 議員(9番 野口 昌作君) えーとですね、今第2号保険者というようなことがございましたけれども、文書の中にはですね、改定前と改定後の最初にですね、被保険者ということが言うてございますから、第1号も第2号も関係なくして被保険者の世帯主、またはこれらであったものということはですね、この最初に被保険者ということが言うてあることによってですね、それを改めてこの被保険者の第1号被保険者、第2号被保険者ということなくしてでもね、文章的にももう少し表現があるでないかなというぐあいに思ったりしますから、その点はどうですか。
- 福祉介護課長(松田 博明君) 議長、福祉介護課長。
- 議長(杉谷 洋一君) 松田福祉介護課長。
- 福祉介護課長(松田 博明君) ご質問にお答えいたします。第1号被保険者というふうに規定しますと60歳以上が対象となります。ただ介護保険の場合は、保険料は、40歳からいわゆる第2号被保険者が60歳以上の第1号被保険者から保険料を徴収しておりますので、当然何らかの罰則規定、両方の被保険者が対象になるべきではないかということで、国の法についてもこれちょっと議論がありましてこのたび、第1号、第2号、両方の被保険者が対象ということで、両方対象になりますと取って第1号、第2号と規定する必要はありませんので、総じて被保険者という表記で改正を求めさせていただいております。

○議長(杉谷 洋一君) よろしいですか。はい、他に質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一議員) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 2 議案第 102 号

○議長(杉谷 洋一議員) 続いて日程第 2、議案第 102 号 平成 28 年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

これから質疑を行います。

まず、一般会計歳入歳出決算事項別明細書の歳入、第 5 款町税 15 ページから 18 ページについて、質疑はありませんか。

○議員(9 番 野口 昌作君) 議長、9 番。

○議長(杉谷 洋一君) 9 番 野口議員。

○議員(9 番 野口 昌作君) 歳入 2 ページに、不納欠損がやっておりますが、不納欠損の額がありまして、「すみません、マイクを自分のほうに向けてください」と呼ぶ者あり。決算書の 2 ページでいいです。また詳細は外に、先の方にあるわけですが、このなかでですね、不納欠損額は今年は多くなっているという状況にあります。それでですね、税金はみなが一生懸命払うという努力をして払っているわけでございまして、不納欠損が、これはまあ法で決めてありますからしかたございませんが、やられることはいいわけでございますけれども、この多くなっている傾向ですね、どういうことで昨年、これまでよりも多くなったか。まあ社会的な傾向があるでないかというぐあいにも思ったりしますし、その点を一つどういう理由のなかで、同額になってきているのか。

また傾向としてはどういうことがあるかということをお尋ねいたします。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課がお答えいたします。

○税務課長(遠藤 忠敏君) 議長、税務課長。

○議長(杉谷 洋一君) 遠藤税務課長。

○税務課長(遠藤 忠敏君) 野口議員からのご質問でございます。不納欠損処分が増えている理由でございます。

町税の安定的確保は、本町の施策や事業を実施するうえにおいて必要不可欠であるとともに納税の公平性や、公正性を確保する観点からも、極めて重要であると考えております。このことから、再三の催告にも関わらず納税をしていただけない方、いわゆる誠意のない滞納者に対しては、財産調査を実施し、預貯金等の債券、不動産の差し押さえ等の滞納処分を行うなど、厳正かつ公正な滞納整理を進めているところでございます。

しかしながら、現下の厳しい社会経済情勢のなかにあつて、現実に納税が困難な方もおられますことから、納税相談において、個々の生活状況等十分に聞き取りするなかで、

分割による納付方法の提示、提案をすることはもとより、財産等の調査を行ったうえで、担税力が認められない方につきましては、関係法令の規定により滞納処分の執行停止を行うなど、適切に対応しているところでございます。

傾向といたしましては、地方税法の、要は3年間の停止が終わりまして、それによりまして欠損処分になったということが多い傾向と考えております。以上です。

○議員(9番 野口 昌作君) 議長、9番。

○議長(杉谷 洋一君) 9番 野口議員。

○議員(9番 野口 昌作君) 固定資産税の滞納処分が808万9,000円ございますけれども、去年は400万ぐらいだったでないかと思えますけれども、これもやっぱり個人が今言われれば、滞納整理にいくなかで、いろいろと分納なりをお願いしたというようなことではございますが、これもやっぱり個人的なことからこういう800万もの不納欠損という処分をされたかということをお伺いいたします。今の言い方ではほとんど個人のよな話ではございますが。

○税務課長(遠藤 忠敏君) 議長、税務課長。

○議長(杉谷 洋一君) 遠藤税務課長。

○税務課長(遠藤 忠敏君) 固定資産税が多いというお話でございますけど、固定資産税につきましては、例えば固定資産税は建物が存在する限り課税されることになっております。ですので、例えば固定資産税のまま滞納された方、その方については現年度分も発生いたします。現年度分を優先的にいま徴収しておりますので、自然的に滞納繰越分、財布が違いますので、現年度分に徴収すれば、滞納繰越分は停止をしておれば欠損になるというような仕組みでございます。以上でございます。

○議員(9番 野口 昌作君) 議長、9番。

○議長(杉谷 洋一君) 野口議員。

○議員(9番 野口 昌作君) 個人の建物であって企業なんかはないということですか。会社なんかの固定資産税が不能欠損になっているというような状況はないかということをお尋ねいたします。

○税務課長(遠藤 忠敏君) 議長、税務課長。

○議長(杉谷 洋一君) 遠藤税務課長。

○税務課長(遠藤 忠敏君) 大半が個人の固定資産税でございます。以上でございます。

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんか。無いようですので、次に移ります。

次、第10款地方譲与税17ページから第50款使用料及び手数料28ページまで、質疑はありませんか。

質疑ないようですので次に移ります。

次、第55款国庫支出金29ページから第60款県支出金52ページまで、質疑はありませんか。

無いようですので次に移ります。

次、第 65 款財産収入 51 ページから第 85 款諸収入 66 ページまで質疑はありませんか。

○議員(9 番 野口 昌作君) 議長、9 番。

○議長(杉谷 洋一君) 9 番 野口議員。

○議員(9 番 野口 昌作君) 56 ページでございますね。56 ページの一般寄付金が、寄付金の予算額が、1,000 円のところが 441 万円という寄付金が入っていますが、1,000 円の予算のなかで 441 万円という非常になんか見込みが悪かったのかどうか。これどういうわけです、こういうようなことになったかということをお尋ねいたします。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○総務課参事(金田 茂之君) 議長、総務課参事。

○議長(杉谷 洋一君) 金田総務課参事。

○総務課参事(金田 茂之君) ただいまのご質問にお答えいたします。一般寄付金の 441 万円でありますけれども、2 件につきましては企業のほうからの寄付金でございまして、1 件につきましては、住民さんのほうから匿名ということで寄付金をいただいておりますので、なかなか 3 月くらいに入ったものですから予算措置をすることができなかったということでございます。以上です。

○議員(9 番 野口 昌作君) 議長、9 番。

○議長(杉谷 洋一君) 野口議員。

○議員(9 番 野口 昌作君) その寄付金については、自由な使途の考え方の寄付金でございましたか、その点ちょっとお伺いいたします。

○総務課参事(金田 茂之君) 議長、総務課参事。

○議長(杉谷 洋一君) 金田総務課参事。

○総務課参事(金田 茂之君) 企業の分につきましては、特段の定めはありませんけれども、住民さんからの分につきましてはさくらの丘保育園のために使っていただきたいというような内容の寄付でございました。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑はありませんか。

じゃあ次に移ります。第 90 款町債 65 ページから 70 ページまで質疑はありませんか。

じゃあないようですので、歳出に移ります。

第 10 款総務費 73 ページから 126 ページまで質疑はありませんか。

○議員(9 番 野口 昌作君) 議長、9 番。

○議長(杉谷 洋一君) 9 番 野口議員。

○議員(9 番 野口 昌作君) 76 ページの報償費のなかです、不用額が報償費が 1,709 万 5,769 円出ております。これ、私どの分だろうかなと思ってみますとですね、

ふるさと納税のふるさと応援基金事業の分のおそらく不用額でないかというぐあいに思ったりしたわけですが、このふるさと応援基金の、そこがまず最少1点目ですね。もしこれがですね、1,700万の、全額はないと思いますけど、ふるさと応援基金の関係だとすれば、ふるさと応援基金の収入が少し検討違いだったのかなというような感じがして、これをさしていただくところでございます。

それからですね、82ページに積立金がございます。積立金の不用額が、1,420万3,000円ということで、予算の額よりも1,400万ほど少ないわけですが、だいたいの収支では、相当な5億なんぼですかいな、黒字になっておるわけですが、この予算を立てた積立金なんかは金はあるしするのに、なぜこのように積立額を減らしてしまうのか。将来に向かってですね、これだけ積み立てていきたいんだということを予算化されているなかでですね、なぜこういうことが起きているかということでございます。

それから86ページで、工事請負費で大山口の駐輪場で、駐輪場の修繕工事が350万ほど繰越明許になっておりますけど、あそこなんかの工事なんかは繰越やらんでもできるでないかと思ったりしますが、どういふなかでこういう現象が起きてきたのかということでございますが、その繰越明許に関しまして、今言いましたようなこととかですね、それから企画費のなかでですね、これは94ページになりますか、94ページの工事請負費とか、負担金補助及び交付金なんかは、非常に繰越されていると。これはどういふことですか、企画費の関係でもできるでないかと思うんですけど、だいたい基本的には単年度会計というのが基本でございますから、こういうようなことか、どういふわけか出てくるのかということでございまして。

それから102ページ、電子計算費がございますが、これがですね1,606万6,000円ですか、約1割以上、2割ないのかな、の不用額ということになっております。そのなかで委託料とかですね、委託料なんかはですね、業者のほうに委託されていると思いますが、それらの計算がどういふことでこんなに差額、不用額ができるような、計算の、まあ予算化がなされているのか。もっときちんとした計算での査定をやっての予算になっていないのかなと。決算がこういうことですから予算が少しずさんだったのかな、その点をちょっとお伺いいたします。

それでまあここをですね、104ページの電子計算機の繰越明許のなかでも、繰越明許ですから昨年度から、27年度からの繰り越しの中でですね、1,000万からの不用額が出るというようなことですが、なんかちょっとですね計算がおかしいでないかと。予算の立て方がおかしいでないかというぐあいに感じておるわけですが、この点について質問いたします。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) それぞれ担当課からお答えいたします。

○企画情報課参事（大黒 辰信君） 議長、企画情報課参事。

○議長（杉谷 洋一君） 大黒企画情報課参事。

○企画情報課参事（大黒 辰信君） 野口議員さんのご質問のなかで、76 ページのふるさと応援基金の不用額につきましてお答えいたしたいと思えます。

この大半がふるさと応援基金でございます。で、ふるさと応援基金の報償品ということ、返礼品ということで予算化はしております。で、ぎりぎりまで返礼品というのがございますので、なかなかそのあたり見切りをつけて減額をするというところができなかったわけですが、また今年度につきましては精査をしまして不用額につきまして落とすようにしたいというふうに考えております。

○総務課参事（金田 茂之君） 議長、総務課参事。

○議長（杉谷 洋一君） 金田総務課参事。

○総務課参事（金田 茂之君） 総務課のほうからは 82 ページのふるさと応援基金積立金他についてお答えいたします。

見込みよりもふるさと応援基金の金額が少なく入ったものですから、それに伴いまして同額を積み立てるということにしておりましたので、その分の不用額が発生しております。

それから 86 ページの工事請負費でございますけれども、繰越明許費の 350 万円でありますけれども、大山口の駐輪場の修繕工事ではなくてですね、旧二本松校舎の解体のために繰越した金額が 350 万ということであります。

それから 102 ページの電子計算費の不用額でありますけれども、マイナンバーの関係でセキュリティー強化ということが国からうたわれておまして、当初 1 台のパソコンでそれぞれの業務を行うように仮想化も検討しておりましたけれども、最終的には完全分離ということで、パソコンを分けるというようなことになりました関係で、そのための委託料等も委託料並びにその下の使用料のほうも不用額が発生しております。

続きまして 104 ページの電子計算費の繰越明許の不用額でありますけれども、こちらにつきましては国の方がまだ定まっておらずで、いろいろ国のほうから注文が出てまいりますので、その関係で若干膨らませて繰越をした関係で不用額が発生したということあります。総務課のほうからは以上です。

○企画情報課長（井上 龍君） 議長、企画情報課長。

○議長（杉谷 洋一君） 井上企画情報課長。

○企画情報課長（井上 龍君） 失礼します。まず 94 ページの繰越明許費 5,702 万 4,000 円の件でございます。これは情報通信更新工事の、宅内工事の負担金ということで、今年度平成 29 年度に繰り越しているものでございます。

あと不用額 300 万がかなり多いということでございました。企画費のなかでも事業がたくさんありまして、10 万円以下の不用額につきましては、減額補正を行っております。

す。ただ 30 事業とか事業数が多くなると、不用額が若干多くなっていくというようなことをございます。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) 答弁は以上ですかいね。じゃあ野口議員。

[「いいです」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) はい、じゃあその他質疑ありませんでしょうか。

○議員(12番 吉原 美智恵君) 議長、12番。

○議長(杉谷 洋一君) 12番 吉原議員。

○議員(12番 吉原 美智恵君) 決算書では 89~94 ですが、決算資料のほうが分かりやすいので決算資料は 43 ページです。毎年のことながら、ファンクラブ事業が行われております。合併以来ずっと毎年、大阪と東京と交互に行われて、町長も今回東京のほうに出られたと思うんですけども、このファンクラブの事業で、大阪に 28 年度行かせていただきました。で、その時にですね、やはりちょっとマンネリ化の感じもしました、会員さんの出てこられる会員さんも減ってきております。そして大阪の時の役員さんが何かこれからのことについて提言もされたと思うんですけども、ファンクラブのあり方について、今回の大阪の反省と町長どのように考えられるのかお聞きしたいと思います。

それからもう一つ自主組織がその下にあります。自主組織も 7 地区、今設立されておるわけですけど、あと残る 3 地区がそのままのような状況であります、それについて今の状況をお知らせ願いたいと思います。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) ファンクラブの詳細と地域自主組織の詳細は担当課からお答えさせていただきます。

ファンクラブの今後についての考え方ですけども、やはり大阪・東京で大山町のことを思いながら離れて暮らしている方にとっては、ファンクラブはとても意義のあることだなというふうに感じております。ただ、今回その東京に参加させていただいて感じたことは、以前にも大阪のほうにも参加させていただいたことがありますけれども、会員さんの、特に若い年代の会員さんが殆どいらっしやらないということを感じました。この会員さんを募っていく事業としては、新たな会員さんが増えてこないとなかなか活動も下火になっていくのかなというふうに思いますので、どうやったら新しい会員さんが増えていくのかを考えながら充実させていきたいなというふうに思っています。以上です。

○企画情報課長(井上 龍君) 議長、企画情報課長。

○議長(杉谷 洋一君) 井上企画情報課長。

○企画情報課長(井上 龍君) 失礼します。ファンクラブの件ですが、去年は大阪で 8

月 28 日に開催して 52 名の方が来ていただきました。昨年、大阪のほうでは新たに規約等を設けまして支部長ということで、なっていた方に今後変わったことをちょっとやっ払いこうということでご提案をいただいております。今後、また検討をしながら、少し変わった催しをやっ払いいきたいというふうには思っています。

あと地域自主組織の件でございますが、3 地区どうなっているかということで、今現在ですけど、自主組織の設立を目指して、順次会合等は毎月行っております。以上です。

○議員 (12 番 吉原 美智恵君) 議長、12 番。

○議長 (杉谷 洋一君) 12 番 吉原議員。

○議員 (12 番 吉原 美智恵君) ファンクラブ事業も 98 万 9,435 円計上されております。これまでどおり交流するんだということですが、町長も変わられまして思うんですけど、ファンクラブについての事業交流ももう 10 年以上続けていまして、そのファンクラブの会員さんの高齢化もあつたりして、この地元にもう地縁の方がおられなくなつたり、代が変わつたりして帰つてこれないという声も聞いたことがありますので、違つた方向というかそういうのは、ファンクラブのこのお金を活かすためにですね、もう少しただ会員を増やすだけでなく、活動の仕方なんかはどうかなと思うのが一つ聞いてみます。

あと自主組織ですけど、やはりここは難しいところ、自主ですので、結局は、その組織に任せるといふことになるんですけど、結構な額が使われておるわけです。7 地区とあと、活動費にですね、そのへんでこれから自主組織についても町長どのように 3 地区をですね、加速させるのか、それともやはり自主に任せるといふのか、以上お聞きします。

○町長 (竹口 大紀君) 議長。

○議長 (杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長 (竹口 大紀君) ファンクラブの会員増加以外に具体的にどういふ活動をするのかということですが、大山のファンクラブの会員の方といふのは、やはり大山に思入れのある方で、大山町以外に住んでおられる方ですので、将来的に移住定住に結びつくようなことも必要だと思ひますし、先ほども質疑のなかでもありましたが、ふるさと納税に結びつけるようなこともしていきたくと思ひます。何よりもその会員になることのメリットを感じていただけるように、その会員の特典、内容を再度充実させていけるようにしていきたくと思ひます。

あと、自主組織についてですけど、やはり自主的にどういふことをやられるかといふのをベースに考えていきたくと思ひますが、その立ち上がつていない 3 地区に関しましては、どのようにしていったら自主組織になるのかを、こちら側、行政側でも最大限サポートしていきたくといふふうに考えていきたくといふふうに考えております。

○議長 (杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんか。じゃあ、次に。

○議員（13番 岡田 聰君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 13番、岡田議員。

○議員（13番 岡田 聰君） 決算書の86ページ、公共設備解体撤去工事、1,298万6,360円、御来屋保育所の解体のようですが、これの今後、跡地の有効活用を図るといふ周知がなされていますが、これの活用の計画はどうか、お願いいたします。

94ページの総務費、企画費、使用料及び賃借料、ライセンス使用料877万3,920円、でございますが、これの内容を説明願います。Vラン回線とコミネット等ありますけども、説明をお願いいたします。

96ページ、同じく総務費のなかの負担金補助及び交付金、スーパーコンパクトビレッジ促進支援事業補助金201万1,898円。これの内容と目標、あるいは成果と言いますか、ねらいはどうか。お願いいたします。

それから96から98ページにあります。もうける力創造事業、講師謝礼とか委託料、負担金補助交付金とがございますが、これのねらいと成果をお願いいたします。

102ページから104ページ、電子計算機の関係ですが、情報漏れ対策に万全を期すということいろいろかなり金が使われておりますが、昨今コンピューターウイルスによって情報流出が結構出ておまして、非常にコンピューター社会危惧されるころですが、こここの予算が多額になっておりますが、外部機関に委託し、役場から発信されるインターネット通信を24時間監視するとか、セキュリティー関係でいろいろあがっておりますが、これらはだいたい同じような、情報漏れを防ぐというねらいだろうと思えますけども、決算審査資料で8ページから9ページ、9ページ、10ページに載っていますが、内容、説明されておりますが、これらの信頼度と言いますか、絶対大丈夫だという、やれるのかどうか。セキュリティー関係では、鳥取県と島根県の関係や、あつ鳥取県と岡山県の全自治体が共同で情報西部セキュリティーシステムを構築ということがございます。これらの信頼度、それから24時間体制でこれら9ページですが、情報漏れを監視するとございますが、これは前この24時間ずっと続けておられるのか、どんなシステムなのか説明をお願いします。

それから110ページ、総務費、総務施設管理費の委託料、仁王堂公園の管理委託料516万円でございますが、これ何年か前は、かなり以前は300万代だったと思えますけども、これの500万の根拠と言いますか、かなりきれいになっておりますけども、ちょっと私の記憶が定かかどうか、確か300万、3百何十万か、以前はだったと思えます。その違いをお願いいたします。

それから116ページの総務費徴税費役務費のところ、コンピュータークレジット収納決裁委託料51万5,194円、それから使用料及び手数料のところクレジット収納決裁利用料17万4,960円、これら、これはまあ金融機関だとは思われますけども、これらの手数料はいくら掛かっているのか、それから口座振替の場合の手数料との比較、ど

うなのか。それから以前も一般質問でやったことあるんですが、コンビニエンスストアで収納できるようにというお願いということ、一般質問でやったことありますけど、これでかなり利便性が・・・

○議長(杉谷 洋一君) すみません、端的にお願いします。

○議員(13番 岡田 聰君) 利便性が高くなっていると思われま。収納率の向上にどれぐらい寄与しているのか、手軽にコンビニで、いろいろな税金等払えるということでも手軽な面がうけていると思いますが、そこらあたり、収納率の向上にどれぐらい役だっているのか、お願いいたします。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えします。

○総務課長(野坂 友晴君) 議長、総務課長。

○議長(杉谷 洋一君) 野坂総務課長。

○総務課長(野坂 友晴君) 86ページの御来屋保育所跡の利用についてというお尋ねにつきましてお答えいたします。現在、町では、跡地利用につきましては、民間の集合住宅を誘致できないかというようなことで、現在を検討進めているところでございますが、まだその対象の方、あるいは詳細についてはまだ定まっておきませんので、今後ご相談をさせていただきたいというぐあいに考えております。以上です。

○総務課参事(金田 茂之君) 議長、総務課参事。

○議長(杉谷 洋一君) 金田総務課参事。

○総務課参事(金田 茂之君) 失礼いたします。電算関係につきましてお答えさせていただきます。

まず24時間体制の監視でございますけれども、リアルタイムの有人監視ということで、24時間体制で行っています。これにつきましては、外部からもそうですけれども、職員に対してもインターネット等で何を使っているかということがわかるようなシステムになっております。それから鳥取県、岡山の自治体セキュリティクラウドの関係でありますけれども、こちらの信用度ということでありまして、信頼度を増すために別に両県でセキュリティクラウドを構築するということになっておりますので、そちらのほうを信用しているというところでございます。以上でございます。

○企画情報課長(井上 龍君) 議長、企画情報課長。

○議長(杉谷 洋一君) 井上企画情報課長。

○企画情報課長(井上 龍君) 失礼します。94ページです。ライセンス使用料ということでご質問がありました。ライセンス使用料ですけれども、コミネット使用料、毎月5万3,280円支払って使用させていただきます。これは603万9,360円、あと行政Vランの回線利用料ということで、年額で273万4,560円支出したということでございます。

あと、ご質問がありました 96 ページ、スーパーコンパクトビレッジ促進支援事業補助金ということで県の補助金を使われまして、かあら山と楽しもなかやまが事業を行われました。かあら山のほうですけれど、かあら山美術教室ということで開催されておりますし、楽しもなかやまはコミュニティー食堂たのしーのほうで運営費に充てておられます。それぞれ地域の活性化に寄与されているということでございます。以上です。

○企画情報課参事（大黒 辰信君） 議長、企画情報課参事。

○議長（杉谷 洋一君） 大黒企画情報課参事。

○企画情報課参事（大黒 辰信君） 98ページの委託料と補助金についてお答えさせていただきます。もうける力創造事業ということで、昨日、地方創生事業の外部検証委員会の結果報告をさせていただきました。その中で、過疎化交付金事業が8事業、推進交付事業が1事業ございます。その中のもうける力という、これは大きな地方創生の項目でございまして、その中の8つの事業の内訳の一つとして、新たな価値創造事業というところ、それから稼ぐ力創生事業というところに使ったお金でございます。

で、この内容につきましては、昨日若干お話させていただきましたけども、最終的には、小さな起業でもいいですから、起業を誘発する、または雇用を拡大するというような目的がございます。以上です。

○税務課長（遠藤 忠敏君） 議長、税務課長。

○議長（杉谷 洋一君） 遠藤税務課長。

○税務課長（遠藤 忠敏君） ご質問にお答えいたします。滞納処分の手数料でございます。これにつきましては、預貯金調査のコピー代ということでございまして、だいたい1枚当たり20円前後の手数料を1枚あたりいただいています。それからコンビニクレジットでございます。コンビニにつきましては、1枚当たり64.8円、クレジットにつきましては50円いただいております。

口座振替との比較でございますけど、平成28年度納付書での納付割合が2万5,091件、口座振替が4万4,109件、コンビニが7,825件、クレジットが151件、合計7万7,176件収納を行っております。割合といたしましては、やはり口座振替が一番大きく57.2%となっております。

○建設課長（大前 満君） 議長、建設課長。

○議長（杉谷 洋一君） 大前建設課長。

○建設課長（大前 満君） 110ページの仁王堂公園の管理委託料についてのご質問につきまして回答させていただきます。516万円の内訳といたしましては、通常の樹木、また芝生等の維持管理と合わせまして、トイレの清掃委託、そして遊具の点検委託、浄化槽、トイレの浄化槽の維持管理の点検等を含みましてこの金額であっております。過去の委託料につきましては、ちょっと手元のほうでは資料がありませんので、すみません、ここでは説明を控えさせていただきます。

○議長(杉谷 洋一君) 答弁は以上ですか。終わりました。はい。岡田議員、よろしいですか。

○議員(13番 岡田 聰君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 岡田 聰君。

○議員(13番 岡田 聰君) スーパーコンパクトビレッジ推進事業、地域活性化にいい事業だと思いますけども、今後続けてやられるのかどうか、今後も他の自主組織でもっと活用できるようなPRをお願いしたいのですがどうでしょうか。

○企画情報課長(井上 龍君) 議長、企画情報課長。

○議長(杉谷 洋一君) 井上企画情報課長。

○企画情報課長(井上 龍君) 失礼します。スーパーコンパクトビレッジの補助金ですけど、県のほうが昨年、この補助金が終了になっております。また県のほうからくる、あらたな補助金については、それぞれ自主組織等にご報告して活用していただくような形で取り組んでいきたいというふうに思っています。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) はい、よろしいですか。他に質疑ありませんでしょうか。じゃあないようですので次に移ります。

第15款民生費125ページから168ページまで質疑はありませんか。

○議員(8番 大森 正治君) 議長、8番。

○議長(杉谷 洋一君) 8番 大森議員。

○議員(8番 大森 正治君) 130ページですが、扶助費で特別医療費ですね、これがこの決算書では9,900万ほどですが、資料のほうでは合計で1億円ですけども、この内訳いろいろありますけども、特に多いのが第6号ですか。これ小児の特別医療費の助成事業だと思います。いわゆる子どもの医療費の無料化ということですけども、これに伴って国のほうはペナルティーを科していますよね。その減額はどれぐらいあるのか。国庫負担金はどれぐらい減らしているのか、説明してください。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○福祉介護課長(松田 博明君) 議長、福祉介護課長。

○議長(杉谷 洋一君) 松田福祉介護課長。

○福祉介護課長(松田 博明君) ご質問にお答えします。特別医療の6号の関係、確かに昨年度、小児拡大、高校生まで拡大しました関係でかなり増えています。で、トータル1億といたしますか、これは給付別に給付費からいいます審査事務費関係であるとか、あるいは印刷製本関係も含めて決算審査資料では1億ちょっとの数字をあげております。で、特別医療に関わる国保のペナルティの関係ですが、議員ご承知のとおりこれに対するペナルティが重ねられますが、具体的な数字については私の方では把握しておりません。

○議長(杉谷 洋一君) 8番 大森議員。

○議員(8番 大森 正治君) 把握していないということは、意味がよう分かんのですが、当然把握されていてしかるべきじゃないかなというふうに思うんですけども、町のほうでその分負担してるってことになりますよね。減額されているから、それが入らないから。逆に言えば、町のほうで負担するとなるとと思いますが、それ調べてないっていうのはちょっと怠慢じゃないかっていう気がします。いかがですか。私はそう思うんですが。全く分からないんですか。

○住民生活課長(山岡 浩義君) 議長、住民生活課長。

○議長(杉谷 洋一君) 山岡住民生活課長。

○住民生活課長(山岡 浩義君) ただいまの質問についてお答えいたします。特別医療の利用によって医療費が増加するというので、国民健康保険の補助金について、それが補助金の増えた分というのがペナルティとして減額されるということで、補助金の制度としてそういう制度がございます。ただ数字はちょっと今現在持っておりませんので、お答えできませんけれども調べれば分かります。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) 8番 大森議員。

○議員(8番 大森 正治君) 課長のほうで、記憶がはっきりないということですが、うざっとでもあれば言ってほしいですが、分からなければ詳しい資料を後で提示してください。お願いします。全議員に。

○住民生活課長(山岡 浩義君) 議長、住民生活課長。

○議長(杉谷 洋一君) 山岡住民生活課長。

○住民生活課長(山岡 浩義君) 調べまして提出いたします。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) よろしいですか。他にありませんでしょうか。

無いようですので次にいきます。

第20款衛生費167ページから184ページまで質疑はありませんか。

○議員(8番 大森 正治君) 議長、8番。

○議長(杉谷 洋一君) 8番 大森議員。マイクを。

○議員(8番 大森 正治君) あっ、ごめんなさい、間違えました。

○議長(杉谷 洋一君) 間違いだったそうですので。他に質疑ありませんでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) ありがとうございます。そういう大きな声してください。

じゃあ次、第30款農林水産業費183ページから210ページまで質疑はありませんか。声がないようですので、次に移ります。

次、第35款商工費209ページから224ページまで質疑はありませんか。

○議員(12番 吉原 美智恵君) 議長、12番。

○議長(杉谷 洋一君) 12番 吉原議員。

○議員（12 番 吉原 美智恵君） これも決算資料のほうが分かりやすいですので、決算資料の 238 ページ、観光商工課のなかに入っていますので、そこで質問いたします。まず一つは、大山山麓観光推進協議会の事項のところ、エコトラックの事業が 1,350 万計上されておりますが、政策の成果には書いてありません。いろいろ事情はあるかとは思いますが、計上されております状況をお知らせください。

それからツアーデスク、その一番下にツアーデスクの運営補助金が 400 万計上されております。ツアーデスクで今回実績というか、旅行商品ができてありましたらそういう結果をお知らせください。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） 担当課からお答えいたします。

○観光商工課長（持田 隆昌君） 議長、観光商工課長。

○議長（杉谷 洋一君） 持田観光商工課長。

○観光商工課長（持田 隆昌君） 吉原議員のご質問にお答えさせていただきます。

まずエコトラック事業の 1,350 万のことです。これは大山ナビというアプリケーションのソフト開発を行っておりまして、これはある観光スポットに近づくと、このアプリをスマホ等でダウンロードしていただくと、観光スポットに近づくと例えばその施設の説明ができるというようなアプリを開発中ということですのでございます。それからエコトラックでモニターツアーを開催しておりまして、その経費として 1,350 万ということですのでございます。それからツアーデスクの運営補助金で新しいツアーができたかということですのでございますけれども、今回は粗利で約 600 万程度の利益が上がっておりますけれども、これ 1300 年事業も合わせましてミニループバスのモニターツアーというものを 1300 年祭の関係で取り組みまして、そういった送客によって利益があがっております。で、新たなツアーということで何件か作らせていただいておりますけれども、まあモニターツアーの段階で今、終わっているという状況です。

○議員（12 番 吉原 美智恵君） 議長、12 番。

○議長（杉谷 洋一君） 12 番 吉原議員。

○議員（12 番 吉原 美智恵君） まずエコトラックですけれども、これ確か地方創生ではかなり目玉商品のような感じで大がかりに発表されたことを記憶しております。エコトラック、せっかく始めたものですので、モニターツアーが 1 回あったかないか分かりませんが、エコトラックについて、やはりやるなら継続してもう少しきちんとエコトラックの商品ができあがるような状況になってもいいんじゃないかと思いますが、それについても 1 回質問いたします。

あとツアーデスクですけど、いつからかずっと計上されておられ、ツアーデスクの人員の強化して、それはまたなかなか人員が減ったりいろんなことになっておりますけれども、

やはりツアーデスクというのは大事な事業であります。大山の看板のところの大事な1300年を控えてと思いますが、そのツアーデスクについての協力体制というか支え体制というか指導というかそういうことはどうなるのか。2点お聞きいたします。

○観光商工課長（持田 隆昌君） 議長、観光商工課長。

○議長（杉谷 洋一君） 持田観光商工課長。

○観光商工課長（持田 隆昌君） 続けてお答えさせていただきます。議員ご指摘の通りエコトラックのこの事業というのは、非常に今後重要になってくるというふうに考えております。今の取り組みといたしましては、そういった先ほどご説明しました大山ナビというアプリを開発するのもそうですし、それから新しい、いわゆるバイクでの周遊ルートというのを新しく造成しております、このコースが3つ程度新たに加わって選定になっているという状況でございます。

で、今後、観光局を中心としまして、これを確実な商品にできるように今後磨き上げていくという予定にしているところであります。

それからツアーデスクでございますけれども、ツアーデスクのほうでは、有資格者の方が今現在1人しかおられませんで、今年新たに資格を取るために3名の方に受験いただいております。結果は出ておりませんが、合格されましたら、この方を中心に新たなツアー造成に取り組んでいただきますし、それから高度人材の活用の事業にも取り組んでおります、エコトラックと合わせて新しいツアーができないかということは今現在取り組んでいる途中でございますので、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（杉谷 洋一君） 他に質疑ありませんか。

○議員（7番 米本 隆記君） 議長、7番。

○議長（杉谷 洋一君） 7番 米本議員。

○議員（7番 米本 隆記君） 毎年毎年ですけれども、観光について、観光費たくさんのお金が毎年入っております。ところがですね、なかなかその成果が見えないところが多いと思ひます。私、いつも言うんですけど、そういった事業をやったから補助金とか、そういったものを出すんじゃないかと、こういったものを出したいから出してくれと言ってもらわなければ出す意味がないと思ひますが、なんか成果的なものが毎年毎年見えてこない。それについてどういうふうに担当課は感じておられるのか、お聞きしたいと思ひます。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） 担当課からお答えする前に、ご指摘のとおりなかなか効果が見えにくい事業も多いと思ひますので、今後はその効果がしっかり説明できるように取り組んでいきたいと思ひます。

○観光商工課長（持田 隆昌君） 議長、観光商工課長。

○議長(杉谷 洋一君) 持田観光商工課長。

○観光商工課長(持田 隆昌君) 米本議員の質問にお答えします。議員ご指摘のとおり、非常に成果が分かりにくいという現状はあります。ただですね、例えば最近では外国人客が確実に増えてきていらっしゃるというのは、数字は今現在調べてもらっている途中ですけれども、確実に増えてきております。この増えてきている状況につきましては、ツアーデスクの方もですね、関西とかいろんなところの旅行社に働きかけたり、そういった旅行社等商談会、そういったところの、出掛けていただいておりますので、そういったものも成果としては出てきているのかなというふうには思っているところです。他にもいろいろと成果が見えにくいというのはご指摘のとおりあると思いますけれど、こういったことをしたいから補助金を出すのがいいんじゃないかというご指摘がありましたけれども、そういったものはなかなか今現在、1300年のイベントというふうに、たくさんイベントを行いますので、そういったことに今現在は、ちょっと注力しております。新しい事業に取り組むというのになかなか我々も観光局も苦しんでいるというところでございます。

ただ、例えばPR映像作成させていただきましたけれども、アクセス数がこれは多いのかどうか分かりませんが、1万5,000件程度のアクセスはいただいておりますし、こういったことの着実に今後成果として現れていくのかなと。で、このアクセス数についても、例えばいろいろと事業の成果を検証して、これは今後どうあるべきかということ町長から指示をいただいておりますので、今後その費用対効果あるいは成果指標と、そういったものにも明らかな数字として出せるような形で取り組んでいきたいなというふうには思っております。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんでしょうか。じゃないようですので、次に移ります。

第40款土木費223ページから234ページまで質疑はありませんか。

○議員(9番 野口 昌作君) 議長、9番。

○議長(杉谷 洋一君) 9番 野口昌作議員。

○議員(9番 野口 昌作君) 230ページですな。230ページにですね、繰越明許費で1,306万円ですか、繰越明許費が出ていますが、これはどこの工事請負費を何ぼずつやっただけの繰越明許費になっているかということちょっと説明いただきたい。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○建設課長(大前 満君) 議長、建設課長。

○議長(杉谷 洋一君) 大前建設課長。

○建設課長(大前 満君) 1,360万の繰越明許費についてということで議員のご質問に

お答えします・・・。

[「ちょっと待っていただけますか、申し訳ございません」と呼ぶ者あり]

○建設課長(大前 満君) はい。この繰越明許につきましては退休寺線と坊領向原線、失礼しました。退休寺線について繰越を行っております。以上です。

○議員(9番 野口 昌作君) 議長、9番。

○議長(杉谷 洋一君) 9番 野口昌作議員。

○議員(9番 野口 昌作君) 退休寺線は完了したというようなことをこの間ごろ聞きましたね。確か聞きましたぞ。それがなぜ繰越なのか。

それからもう1点ですね、町道人権交流センター線というのは、どこの周りの工事をやったかということをお尋ねいたします。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 詳細については担当課からお答えしますが、政務報告でさせていただいたのは、平成28年度からの繰り越し事業の町道退休寺線の改良工事は工事完了したというふうには報告させていただいております。

○議員(9番 野口 昌作君) 議長、9番。

○議長(杉谷 洋一君) 9番 野口昌作議員。

○議員(9番 野口 昌作君) 町長さん、私の間違えておるような感じでございますけれども、これは昨年度の分でございますが、ね、繰越明許はね、昨年度繰越した分ということでございます、私今年繰り越すもんだというような感じがしたものですからですけども、まあズバツと言ってしまうと、人権交流センター線、これが完了して3月の31日に検査を受けて検査をしておられます。ここはですね、私、選挙運動で回りました時にですね、ここの工事は最中ではございましたが、確かそこだと思っております、人権交流センターの前のね、西山監査委員さんの前の道路でございますけれども、これはこの3月31日に工事を検査したというなかのんですね、分なのかそれとも繰越をされた工事なのかということをお伺いいたします。

○建設課長(大前 満君) 議長、大前建設課長。

○議長(杉谷 洋一君) 大前建設課長。

○建設課長(大前 満君) 人権交流センター線は人権交流センターの前を行っている工事で、検査といたしましては3月31日に完了したということにしております。

○議長(杉谷 洋一君) はい、どうもマイクがついてないまでに皆さん発言されるようです。しっかりそれを確認して発言していただきたいと思います。

はい、じゃあ7番、米本議員。

○議員(7番 米本 隆記君) 橋梁の修繕についてお聞きしたいんですが、以前町内の橋梁についていろいろ点検されて補修計画をされておると思います。今現在で、どの程

度の進捗で終わっているのかっていうことを聞きたいと思います。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○建設課長(大前 満君) 議長、大前建設課長。

○議長(杉谷 洋一君) 大前建設課長。

○建設課長(大前 満君) どの程度終わっているかということでございますけども、全部で148橋ございまして、それを5年間ですべて点検を終えるということで計画をしております。すみません、正式な数字は今、手元で確認できておりませんが、現在終わったのは、約50橋は終わっています。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) よろしいですか。はい、その他。

はい、2番 池田議員。

○議員(2番 池田 幸恵君) はい。すみません。228ページ、除雪作業委託料等についてのことなんですけれども、毎年除雪に回ってこられるんですけれども、年々天候も変わってまして大雪が一気に降ったりする時があるんですけれども、その大雪が降った時、毎年孤立される方が多々あったりすると話を聞きます。現に私が住んでる集落もなかなか来られたり来られなかったら出れなかったことも多々ありました。大雪とかの対応策とかはどういうふうにこのなかに織り込まれているかお知らせください。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○建設課長(大前 満君) 議長、大前建設課長。

○議長(杉谷 洋一君) 大前建設課長。

○建設課長(大前 満君) 大雪時の対応についてというご質問でございます。通常の委託業者だけでは除雪路線すべて賄うことはできない状況が発生した場合には、建設業協議会等依頼いたしまして、建設機械をできるだけ出していただきながら対応のほうをさせていただいております。あと集落のほうに対しましても通常の委託でやっていたい集落以外にも助成をさせていただきながら集落のほうでも除雪のほうをお願いをしているところでございます。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) よろしいですか。池田議員、今度質問される時は、マイクを自分のほうに向けてやってください。

その他ありませんでしょうか。ないようですので、ここで休憩したいと思います。

休憩は50分までということで、50分になりましたら再開しますので、よろしく願いします。

午前10時40分休憩

午前 10 時 50 分再開

○議長(杉谷 洋一君) 再開します。

質疑がない時には、しっかりありませんということで声をいただければ、こちらも運営上助かりますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

続きまして第 45 款消防費 233 ペーから 238 ページまで質疑はありませんか。

○議員(4 番 加藤 紀之君) 議長、4 番。

○議長(杉谷 洋一君) 4 番 加藤紀之君。

○議員(4 番 加藤 紀之君) 238 ページになりますか、自主防災組織育成事業ですけれども、今年度はあらたにできた組織っていうのがありますでしょうか。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○総務課参事(金田 茂之君) 議長、総務課参事。

○議長(杉谷 洋一君) 金田総務課参事。

○総務課参事(金田 茂之君) ただいまの質問にお答えをいたします。今年度と言われますのは、決算時 28 年度のことだと思っておりますけれども、毎年 1, 2 件程度の新規の自主組織が立ち上がっております。以上でございます。

○議長(杉谷 洋一君) その他、質疑ありませんか。

○議員(7 番 米本 隆記君) 議長、7 番。

○議長(杉谷 洋一君) 7 番 米本議員。

○議員(7 番 米本 隆記君) これも 238 ページに掛かると思いますが、消防団員の総数でございます。

[「総務でないの」と呼ぶ者あり]

○議員(7 番 米本 隆記君) あっ、そうか。すみません。

○議長(杉谷 洋一君) 時々、間違っているのはあるものですので、その他質疑はありませんか。

質疑なしということですので、次に進みます。

次に、第 50 款教育費 237 ページから 290 ページまで質疑はありませんか。質疑なしといたします。

続きまして第 60 款災害復旧費 289 ページから最終ページの地方債の平成 27 年度末及び平成 28 年度末における現在高に関する調書 303 ページまで質疑はありませんか。

○議員(9 番 野口 昌作君) 議長、9 番。

○議長(杉谷 洋一君) 9 番 野口議員。

○議員(9 番 野口 昌作君) これ 300 ページですか、301 ページにですね、基金運用状況の表がございますけれども、ふるさと応援基金が 27 年度末現在で 2 億 2,900 云々

とそれから 28 年度中に 2 億 2,593 万 3,000 円積み立ててございますが、私一番最初に基金の積み立てが予算が残っている状況のなかで質問したところが、ふるさと応援基金の関係が少なかったというようなことですね、ありましたけれども、ではここの、ふるさと応援基金の積み立て金が、だいたい当初考えらえておいたのは、どの程度の額を積み立てとして考えておられたかということをお尋ねいたします。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○総務課参事(金田 茂之君) 議長、総務課参事。

○議長(杉谷 洋一君) 金田総務課参事。

○総務課参事(金田 茂之君) 当初と言いますか、補正予算でたびたび増額の補正をさせていただいております、最終的には 2 億 5,000 万円ぐらいを見込んでおりましたけれども、年が変わりまして 1 月から 3 月、思ったほど伸びませんで、最終的に 2 億 2,500 万程度で納まったということでございます。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) その他、質疑ありませんでしょうか。

○議員(3 番 門脇 輝明君) 議長、3 番。

○議長(杉谷 洋一君) 3 番 門脇 輝明君。

○議員(3 番 門脇 輝明君) 昨日の全員協議会で様式に関する質問をさせていただいたんですけれど回答いただける部分がありましたら、教えていただくことはできますでしょうか。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えさせていただきます。

○総務課長(野坂 友晴君) 議長、総務課長。

○議長(杉谷 洋一君) 野坂総務課長。

○総務課長(野坂 友晴君) お答えいたします。まずは、公有財産のほうの土地及び建物の件でございます。普通財産と行政財産に分ける必要があるというところでございますが、これ合併時に旧町で財産台帳を持ちあったときに、すべての町でこれが分けてないところがありまして、分けたところもございますが、分けてないところもあつたりして、どうも合併当時のことを調査いたしますと、そういった事情でこのような様式にさせていただいたというところがございます。したがってなかなかちょっとその合併前の資産の組み分けにつきましては、早急にということにはちょっと難しいものではないかということと考えておりますが、できる限り調査をしてみたいというぐあいに考えています。以上です。

○議員(3 番 門脇 輝明君) 議長、3 番。

- 議長(杉谷 洋一君) 3番 門脇 輝明君。
- 議員(3番 門脇 輝明君) 将来に向かっては分けるという報告で作業を進めていく
ということで理解していただいてよろしいでしょうか。
- 総務課長(野坂 友晴君) 議長、総務課長。
- 議長(杉谷 洋一君) 野坂総務課長。
- 総務課長(野坂 友晴君) はい、そのように考えておるところでございます。
- 議員(3番 門脇 輝明君) 議長、3番。
- 議長(杉谷 洋一君) 3番 門脇議員。
- 議員(3番 門脇 輝明君) 4番の基金についてですけれども、不動産、土地について昨日は、これは評価額の2億298万2,000円であるというふうに教えていただいたんですけれども、これはどこの土地の評価額になるんでしょうか、お願いいたします。
- 副町長(野間 一成君) 議長、副町長。
- 議長(杉谷 洋一君) 野間副町長。
- 副町長(野間 一成君) ナスパルタウンの土地でございます。
- 議長(杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんでしょうか。
- 議員(9番 野口 昌作君) 議長、9番。
- 議長(杉谷 洋一君) 9番 野口昌作議員。
- 議員(9番 野口 昌作君) 296ページにですね、鳥取県農業担い手育成基金の1,199万円がですね・・・

[「もうすんじゃったで」「3回」「議長」と呼ぶ者あり]

- 議長(杉谷 洋一君) 独り言はやめてください。その他、質疑ありませんでしょうか。
じゃあ、その他、一般会計歳入歳出決算の全般について質疑はありませんか。
- 議員(14番 野口 俊明君) 議長、14番。
- 議長(杉谷 洋一君) 14番 野口議員。
- 議員(14番 野口 俊明君) 監査委員の指摘事項です、工事業務完了後に行われる検査の実施について、一部適正でない部分が見られたということでございます。先ほど質疑の中でも、そういう質疑もありましたが、何か選挙期間中に工事をしながら前もって完成検査が終わっていたような話も課長がしました。
このなかでどういう事業がこういう指摘、今回の監査であったのか、その指摘内容と全事業についてご報告を願いたいと思います。
- 議長(杉谷 洋一君) はい、竹口町長。
- 議員(14番 野口 俊明君) ちょっと、補足。
- 議長(杉谷 洋一君) はい、じゃあ補足。
- 議員(14番 野口 俊明君) 今の指摘を受けた事業ですよ、皆さんやった事業を、全事業を言えということではないです。指摘を受けられたのが、どういう事業があつて

指摘内容はなんだったのか。受けられた事業は全部あとでばれないような状況でご報告願います。

- 議長(杉谷 洋一君) 今のは監査委員さんに？
- 議員(14番 野口 俊明君) いやいや、執行部の。
- 議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。
- 町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えします。
- 総務課長(野坂 友晴君) 議長、総務課長。
- 議長(杉谷 洋一君) 野坂総務課長。
- 総務課長(野坂 友晴君) 失礼します。監査委員の指摘にもありますように、工事費の工事完了検査につきましては、14日以内、その他の主に業務でございましたが、業務につきましては10日ということになってはいますが、業務と工事の混同ということでもございました。したがって、検査が遅ればその分だけ支払が遅れるということが発生いたします。したがって検査、意見書をいただいたのちに、職員に対しては、工事の検査の14日と、業務等の10日についての再確認については行ったところでございます。どうも申し訳ございませんでした。
- 議員(14番 野口 俊明君) 議長、14番。
- 議長(杉谷 洋一君) 14番 野口俊明議員。
- 議員(14番 野口 俊明君) 今、私の質問したことに答えておられません。その14日と10日ということ、私はどの事業で、指摘事項、指摘事項があったのは14日以内と10日以内ということでありますから、そこらへんのあれを再度、私2回目ということよりか、これ私の質問に全然ぴんと外れるあれですから、もう少し、わざわざ説明したのに、聞いておられんということは、大変私は議員として憤慨するところであります。もう少しきちんと誠意をもって答えていただきたい。
- 副町長(野間 一成君) 議長、副町長。
- 議長(杉谷 洋一君) 野間副町長。
- 副町長(野間 一成君) 野口議員さんの御質問に答えられません。それぞれ担当課がご指摘を受けておられるかもしれませんが、それぞれのことでございまして、ここに一覧がございません。監査委員さんのほうでそういった資料を作っておられるかもしれませんが、それを見せてもらって回答ということにさせていただければと思います。
- 議員(14番 野口 俊明君) 議長、14番。
- 議長(杉谷 洋一君) 14番 野口俊明議員。
- 議員(14番 野口 俊明君) 議長、私3回になっちゃうような感じがするけど、どうですか。あと、もう1回まだあと許してくれるわけ。ここで許されんなら、いや……。
- 議長(杉谷 洋一君) 今の答弁に納得されておらんのですので、意味が違うわとかありま

すのでどうぞ。

○議員（14 番 野口 俊明君） なら、その今言います。私が言ったのは、どの事業を指摘されたか。監査委員から事業課が指摘された各課が私の所はこういうことをされましたと言うべきでしょう。事業名と指摘内容を言ってくださいということを言ったわけですから。

○議長（杉谷 洋一君） という質問ですのでご答弁をお願いします。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） それぞれ担当課から御答えします。

○議長（杉谷 洋一君） それではちょっと休憩します。

午前 11 時 10 分休憩

午前 11 時 12 分再開

○議長（杉谷 洋一君） じゃあ、再開します。野間副町長。

○副町長（野間 一成君） たびたびのことでえらい申しわけございません。決算審査のなかで、監査委員さんに具体個別にご指摘はいただいてはおりませんでした。ただこの資料のなかで各課がそれぞれ事務事業について報告をいたしておりますなかで、検査日と完成年月日との間に所定の決められた日にちよりも長いものがあったということで、監査委員がご指摘をされたということでございますので、今ちょっとそのまとめたものはございませんから、あとで一覧にさしていただいて回答にさせていただきたいと思えます。よろしくをお願いします。

○議長（杉谷 洋一君） 野口議員、それでよろしいですか。後でっていうことで。

○議員（14 番 野口 俊明君） はい、なら必ず 50 万以上、全部、なら全部指摘事項に該当するものは、全部の町の部署のものを出してください。お願いします。

議長、ちゃんとやってくださいよ。

○議長（杉谷 洋一君） ということで。

○議員（14 番 野口 俊明君） 議長、それをちゃんとやってくださいよ。

○議長（杉谷 洋一君） はい、じゃあ、執行部のほう、そういうことですのでしっかりきちんとしたものを出していただきたいというふうに思います。早急をお願いします。

続きまして、その他、質疑ありませんか。

○議員（12 番 吉原 美智恵君） 議長、12 番。

○議長（杉谷 洋一君） 12 番 吉原議員。

○議員（12 番 吉原 美智恵君） 全般ですけれど、28 年度大山町決算の概要についてという冊子があります。その 16 ページの財政数値の概要についてということをお聞きください。

そこですすね、決算審査の報告書、意見書のなかではすすね、地方公共団体財政健全

化法に基づく判断比率は、いずれも早期健全化基準を下回っているということで概ね良好な判断が下されていると思います。実質公債費比率も 8.7%で早期健全化基準は 25%を大きく下回っておりまして随分安心する数字だとは思いますが、この表のなかで、経常収支比率というのがあります。そこで 27 年度は 85.5%、今回 28 年度は 91.8%になっています。これまで私の記憶では 90%以上超えたことはないんですけども、この比率が上がれば上がるほど自由度がせまくなるというかそういう考え方のものだと思いますが、これについて町長はどう思われますでしょうか。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) はい、お答えします。吉原議員ご指摘のとおり、この計上収支比率という数字が高いと財政が硬直化しているということでございます。経常的に支払っている支出が 91.8%という比率なんだと思いますけれども、これを 27 年度から 28 年度にこれぐらい上がっている要因が必要であれば担当課から説明させていただきますが、この数字が高くなると財政が硬直化するので数字が下がるように今後努力していきたいなというふうに思っています。

○議員(12 番 吉原 美智恵君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 12 番 吉原議員。

○議員(12 番 吉原 美智恵君) これについてはやっぱり分析が必要だろうと思えますし、これからの対策ということで、町長言われますように事業の評価などを厳しく見つめ直すことでしたので、それを活かしてやっていかれるかなと思えますが、要因がもし分かればお願いしたいと思えます。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えさせていただきます。

○総務課参事(金田 茂之君) 議長、総務課参事。

○議長(杉谷 洋一君) 金田総務課参事。

○総務課参事(金田 茂之君) 経常収支比率の増加理由でございますけれども、公共下水道特会と農業集落排水特会に対する一般会計からの繰出金の考え方につきまして、全国的に臨時でとっておった部分につきまして、国からの指導で急きょ、経費でとれというようなことが全国的にありました関係で、当初本町で積算しておりましたのは 89%くらいでしたけれども、その関係で 91.8%まであがったというところで本町だけではなくて、全国的に同じような考え方で再計算していますので、どちらの団体につきましてもぼんと上がっているというような状況であります。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) よろしいですか。はい、他に質疑ありませんでしょうか。

○議員(8 番 大森 正治君) 議長、8 番。

○議長(杉谷 洋一君) 8 番 大森議員。

○議員(8 番 大森 正治君) 監査委員さんにお聞きしたいと思います。監査意見の中

にですね、こういう指摘、意見がありました。初期の目的を達成したと見込まれる事業や費用対効果が乏しい事業などの安易な継続実施は、職員への過重な負担、課の重要事項遂行の妨げになる可能性が大きいので、思い切った廃止等の事業、事務の見直しが見込まれるところであるということは、最もなことだと思います、当然。私たちもそれを議会としてもチェックしなければならないわけですが、監査委員の目から見られて、例えば具体的にどういう事業をここは想定しながら意見として述べられているのか。それを話してください。

○議長(杉谷 洋一君) 石黒代表監査委員。

○代表監査委員(石黒 澄男君) 具体的にはですね、この事業、この事業ということは考えていません。これはあくまでですね、町のほうで考えられて、って言いますのがなかなか実態までは分からないもんでして、ですからそこらへんもう一回みんな考えて、やっていってほしいという意味合いです。ですから、特に具体的には、この事業というふうには考えていなかったです。以上です。

○議員(8番 大森 正治君) 議長、8番。

○議長(杉谷 洋一君) 8番 大森議員。

○議員(8番 大森 正治君) ということは具体的にはないけども、一般論として指摘をされた、意見を述べられたということですか。

[「一般論じゃない」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 石黒代表監査委員。

○代表監査委員(石黒 澄男君) そのとおりです。

○議員(8番 大森 正治君) 議長、8番。

○議長(杉谷 洋一君) 8番 大森議員。

○議員(8番 大森 正治君) こういう意見を出されるということは、何らかの背景があつてだと思いますので、そのあたり執行部のほうでは、こういうものが該当するかもしれないなど、言いにくいかもしれませんが、予想されるものっていうのはご指摘できますか。

ここは、大事なところだろうと思いますので、またこの場で言いにくければ、各常任委員会でも議論しなければならないところだと思いますが、そのあたりの見解をお願いします。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) はい、お答えします。その具体的な事業というのは、今これだというのはないんですけれども、多数ある事業のなかで先ほど来ご指摘もいただいておりますが、なかなか効果が見えにくいとか効果が説明できないような事業等もありますので、そういったものをひとつひとつ精査していくなかで必要なのか、不要なのかを判断していきたいというふうに思っています。

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑はありませんか。

○議員(4番 加藤 紀之君) 議長、4番。

○議長(杉谷 洋一君) 4番 加藤 紀之君。

○議員(4番 加藤 紀之君) 町長と教育長と、それぞれにお聞きしたいと思います。

町長も教育長も29年度に入りましてから変わられました。28年度の事業執行にあたっては、別の町長、教育長が担当されていたわけですが、その客観的にみて28年度の決算、どうだったかというか、総括というか簡単に思っていることを聞かせてもらえればなと思います。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) まず私のほうからお答えさせていただきます。昨年度は違う体制で行われていたということですが、行政も継続性の面から昨年度は違う体制だったので、知らないというようなお答えはできないのかなというふうに思いますが、客観的に見まして先ほど来本当にずっと同じような質問が出ていますが、やはり効果がどうだったのか、あるいは費用に対してどういう成果が上がったのかというところがなかなかこの決算審査の資料等では判断できないものが多いなというふうには見受けられました。で、今年度、この行政運営をしていくなかでは、そういった数字の面をしっかりと厳しく見ていきたいなというふうに思っておりますし、そういうものが出ると議員さんのほうからも指摘がしやすいのかなというふうに思っていますので、客観的な議論ができるような数字をしっかりとつかんでやっていきたいなというふうに思っております。以上です。

○教育長(鷺見 寛幸君) 議長、教育長。

○議長(杉谷 洋一君) 鷺見教育長。

○教育長(鷺見 寛幸君) ご質問にお答えいたします。大山町決算の概要についての8ページを見ていただきますと、歳出目的別の一覧表があります。このなかの教育費の部分ですが、平成27年度の構成比が7.0%、そして28年度の構成比が8.3%ということで、歳出のなかの教育費の締める割合が増えております。8.3%ということで、非常に教育に対して予算をたくさんつけていただいているなというふうに思っております。実際に教育委員会が保育所の管轄でもあることもありまして、保小中の連携、そしてそれぞれの施設の充実、教育環境の整備等予算をつけていただいておりますし、また社会教育の部分にも、施設またいろんな事業についても予算をつけていただいておりますし、またさらに28年度に向けて教育費のほう充実させていただければなというふうに考えております。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) いいですか。その他、質疑ありませんか。

○議員(13番 岡田 聰君) 議長、13番。

○議長(杉谷 洋一君) 13番 岡田議員。

○議員(13番 岡田 聰君) 監査委員さんの決算審査意見書の方が見やすいんですけ

ど、中ほどに収入未済額の状況がございます。27年度に比べて増額になったもの、軽自動車税 255万3,078円、保育料 43万7,000円、町営住宅使用料 537万1,109円、保育料一時保育料 2万3,500円、まあ僅かな金額のものもありますが、自主財源の乏しいなか、貴重な財源になるわけですが、これらの収納見通しをお願いいたします。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○税務課長(遠藤 忠敏君) 議長、税務課長。

○議長(杉谷 洋一君) 遠藤税務課長。

○税務課長(遠藤 忠敏君) 未収額についてのお尋ねでございますが、適切に法律に基づいて執行しております、個々の具体、個別事案を検討しまして滞納処分等も執行しておりますが、このような状況になったしだいでございます。以上でございます。

○建設課長(大前 満君) 議長、建設課長。

○議長(杉谷 洋一君) 大前建設課長。

○建設課長(大前 満君) 町営住宅の未収金につきましても臨戸訪問等行いながら、分納していただく等、手続きをさせていただきながら回収に努めていくところでございます。

○議長(杉谷 洋一君) もう、よろしいですか。岡田議員、よろしいですか。はい。じゃあ、その他、質疑ありませんでしょうか。

○議員(9番 野口 昌作君) 議長、9番。

○議長(杉谷 洋一君) 9番 野口議員。

○議員(9番 野口 昌作君) 商工観光費の観光費の関係でですね、大山だいせんプロジェクトというようなことで事業委託料が出たりしておりますが、これは今問題の件についての委託料というようなことなわけでございますが、これらをこの頃精査しておられるなかでですね、不審な支出というようなことが出ているでないかというぐあいにも思ったりするわけでございますけども、私の思い違いがあるかもしれませんけれど、そういうなかでですね、これらを決算としてあげていく業務がきちんとやられたというような捉え方であげていくということも少し問題があるでないかというぐあいに思うわけでございますけれどもこの点どういうぐあいに考えられますか。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○観光商工課長(持田 隆昌君) 議長、観光商工課長。

○議長(杉谷 洋一君) 持田観光商工課長。

○観光商工課長(持田 隆昌君) 大山だいせんプロジェクトという事業におきまして、平成28年度は当初NPO法人に委託しておりましたが、問題発覚時点で精査をいたしまして、年度中途ですが、その時点で一端委託契約を打ち切り、その時点で事業内容を

精査して当初の委託金額より実際に行った実績額で一端精算しております。で、その後、残りの継続事業は、私の観光商工課の職員が担当して、自らの事業として取り組んでおりますので、決算の内容的には遺漏はないというふうに考えております。

○議長(杉谷 洋一君) いいですか、はい。

○議員(7番 米本 隆記君) 議長、7番。

○議長(杉谷 洋一君) 7番、米本議員。

○議員(7番 米本 隆記君) 決算審査資料のほうがいいかな、234 ページ、大山恵みの里づくり補助金 2,440 万円についてお聞きしたいと思います。実際にこの中で、生産者支援という公的部分についての補助金だというふうに思いますが、実際に公的事业につきまして事業全体がどの程度予算に対して進捗されたのか。そして実際この費用の内訳を再度教えてください。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) はい、竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○議長(杉谷 洋一君) 担当課、ありませんか。

○観光商工課長(持田 隆昌君) 議長、観光商工課長。

○議長(杉谷 洋一君) 持田観光商工課長。

○観光商工課長(持田 隆昌君) 大山恵みの里づくり補助金 2,440 万円のなかみについてということでお答えしたいと思います。まず、公益事業ということで、まず 400 万、それからその事務費で 320 万円、人件費で 920 万、ここの部分で 1,640 万円でございます。それから農産物処理加工施設事業ということで 800 万円、合わせて 2,440 万円ということでございます。

農産物処理加工施設につきましては、研究開発費 300 万円と正職員 2 人の人件費 40% 相当分、それから工場稼働費補助ということで 500 万。合計 800 万がその内訳でございます。以上です。

○議員(7番 米本 隆記君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 7番 米本議員。

○議員(7番 米本 隆記君) 今、説明もらいましたけど、実は公益部門で 400 万と言われますけども、実際に事業はいくら使ってあったんでしょうか。この費用が兼用されているように私は記憶しておるんですが。いくらどこに使われたか教えてください。

議長、公社のなかみで、中の方で答弁できんってということならいりません。

[「答弁、せないけません」と呼ぶ者あり]

○議員(7番 米本 隆記君) 決算・・聞いているだけのことであって、答弁できんってことならいいです。

○議長(杉谷 洋一君) どうですか。

- 観光商工課長（持田 隆昌君） 議長、観光商工課長。
- 議長（杉谷 洋一君） 持田観光商工課長。
- 観光商工課長（持田 隆昌君） 会社の資料ちょっと見ながらということで、ちょっと時間が掛かるかもしれませんがお許しいただきたいと思います。
- 議長（杉谷 洋一君） 休憩いたします。

午前 10 時 50 分休憩

午前 10 時 52 分再開

- 議長（杉谷 洋一君） では再開いたします。じゃあ、持田観光商工課長。
- 観光商工課長（持田 隆昌君） 申し訳ありません。手間取ってしまいました、申し訳ありませんでした。公益事業費の部分の支出は、199 万 2,540 円ということで報告をいただいています。それから役員・評議員の費用弁償 7 万 2,000 円。それからその他人件費ということで 1,157 万約 2,000 円。それからその他の事務費販売経費ということで 226 万 8,000 円。それから、その他合わせて支出の分の合計 1,640 万 5,000 円ということになっております。。
- 議員（7 番 米本 隆記君） 議長。
- 議長（杉谷 洋一君） 7 番 米本議員。
- 議員（7 番 米本 隆記君） ということは、先ほど最初に説明がありました事務局の人件費というのは 920 万ということがあったんですが、実際に今言われましたのは 1,157 万ということになりますと、公益部門部の約 200 万というのは、こちらに入ったという認識でいいんですね。
- 観光商工課長（持田 隆昌君） 議長、観光商工課長。
- 議長（杉谷 洋一君） 持田観光商工課長。
- 観光商工課長（持田 隆昌君） そのように理解していただいていると思います。
- 議長（杉谷 洋一君） そのほか、質疑はありませんでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

- 議長（杉谷 洋一君） ありがとうございます。質疑なしと認めこれで質疑を終わります。

日程第 3 議案第 103 号

- 議長（杉谷 洋一君） 日程第 3、議案第 103 号 平成 28 年度大山町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

- 議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 4 議案第 104 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 4、議案第 104 号 平成 28 年度大山町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 5 議案第 105 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 5、議案第 105 号 平成 28 年度大山町開拓専用水道特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 6 議案第 106 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 6、議案第 106 号 平成 28 年度大山町夕陽の丘神田特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

○議員（7 番 米本 隆記君） 議長、7 番。

○議長（杉谷 洋一君） 7 番 米本議員。

○議員（7 番 米本 隆記君） 実は歳入のほうで、県のサッカー協会からですかいね、寄付金で一応 80 万いただくようになっています。ところがですね今度歳出のほうで言いますとね、フットボールセンター業務委託料ということで 48 万 5,000 円支払うようになっています。実際にこの業務委託料、フットボールセンターの業務ということサッカー協会のほうに委託したという経緯を教えてください。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） はい、竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） 担当課からお答えいたします。

○観光商工課長（持田 隆昌君） 議長、観光商工課長。

○議長（杉谷 洋一君） 持田観光商工課長。

○観光商工課長（持田 隆昌君） フットボールセンターの管理につきましては、鳥取県サッカー協会さんから平成 27 年度までは職員を派遣していただいていたおりました。サッカー協会さんの事情によりますが、その職員の方が出向で移動されるということでございまして、平成 28 年度はサッカー協会の方が常駐ではなくて、週に何回か必要に応じてフットボールセンターセンターの管理等に来られると。で、来られた実績に応じて月ごとで委託額を支払っているという方法を平成 28 年度はとらせていただいております。

ます。以上です。

○議員（7番 米本 隆記君） 議長、7番。

○議長（杉谷 洋一君） 7番 米本議員。

○議員（7番 米本 隆記君） このフットボールセンターの職員さんがおられたっていうのは分かっています。それで 28 年度からはずっと私も一般質問なんかしてきて事業が変わって、おられんようになったというのは分かっています。ただ、フットボールセンターとしてあそこの機能を持たせるっていうことが、実際にはあそこは山香荘の中の一部ということで、本来でしたら、県サッカー協会の方が常駐されて運営されるということだったと思うんですけども、その方々のための費用を町の方が捻出するというところについて、ちょっと疑問なところがあるんですけどこれはどういった経緯ですか。経緯を教えてください。今言われたのは、27 年まではおられた、28 年度おられないからこうだ。で、今 28 年度は後から週に何回か来られるからこれを支払っていますということなのか、それならそれで結構です。また後から調べてみますけど。

○観光商工課長（持田 隆昌君） 議長、観光商工課長。

○議長（杉谷 洋一君） 持田観光商工課長。

○観光商工課長（持田 隆昌君） 最後におっしゃったとおりでございます。

○議長（杉谷 洋一君） その他質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 7 議案第 107 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 7、議案第 107 号 平成 28 年度大山町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 8 議案第 108 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 8 議案第 108 号 平成 28 年度大山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 9 議案第 109 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 9、議案第 109 号 平成 28 年度大山町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 10 議案第 110 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 10、議案第 110 号 平成 28 年度大山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 11 議案第 111 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 11、議案第 111 号 平成 28 年度大山町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

○議員（8 番 大森 正治君） 議長、8 番。

○議長（杉谷 洋一君） 8 番 大森議員。

○議員（8 番 大森 正治君） 24 ページにあります、一番下のほうの、負担金ですね、これは介護予防生活支援サービス事業のなかですけれども、訪問介護負担金、それから通所介護負担金、それぞれありますけれども、それでですね、予算に対して支出済額が、ざっと計算して 6 割の実施率だと思うんですけど、えらい低いじゃないかと私思いましたが、低い要因が何かあったら示していただきたいと思います。

まずそれ 1 点。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） はい、竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） 担当課からお答えいたします。

○福祉介護課長（松田 博明君） 議長、福祉介護課長。

○議長（杉谷 洋一君） 松田福祉介護課長。

○福祉介護課長（松田 博明君） ご質問にお答えいたします。通所介護並びに訪問介護の利用率、6 割ぐらいで低いんじゃないかということですが、これについては、なかなかほぼ利用者の状況によって結構変動があったりするものでして、当初見込みで予算組んでおりましたけれども、そのへんでまあ、決算としてこの数字ですけれども、ちょっとまあ若干見込みもっと利用があがるかなということ組んでおったんですけども、結果と

してはこうなった。ただ、全体としては利用状況なり参加状況については概ね、該当の方については利用いただいているのかなというふうに思っております。

○議員（8番 大森 正治君） 議長、8番。

○議長（杉谷 洋一君） 8番 大森議員。

○議員（8番 大森 正治君） と、言いますのが、平成 28 年度から要支援 1、2 が介護保険から外されましたよね。総合事業に変わりました。そのへんとの関連がないのかなということをご心配しております。総合事業から地域支援事業になって、いろいろ弊害も出てはいないかということをご心配するわけですけども。例えば、介護報酬も引き下げられたためにですね、この事業から、地域支援事業から撤退する施設もあると。手を引く施設もあるという話を聞いております。そういう報道もなされておりますけども、そういう点も影響してないのかなのか、予定どおり大山町では、事業者のほうに委託して今までどおりできますという話をきいたんですけども、それがスムーズにいったのかどうか、その辺をお聞きしたいと思います。

○福祉介護課長（松田 博明君） 議長、福祉介護課長。

○議長（杉谷 洋一君） 松田福祉介護課長。

○福祉介護課長（松田 博明君） 議員ご指摘のとおり総合事業のほうに一部うつってまいりました。大山町としては、事業所さんと協力してスムーズに移行してきているというふうに思っています。

○議長（杉谷 洋一君） よろしいですか。その他質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 12 議案第 112 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 12、議案第 112 号 平成 28 年度大山町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

○議員（9番 野口 昌作君） 議長、9番。

○議長（杉谷 洋一君） 9番、野口昌作議員。

○議員（9番 野口 昌作君） 14 ページですけれどもね、役務費が 716 万 8,000 円ほど不用額が出ておりますけれども、処理区の関係のですね、汚泥処理の関係だと思っておりますけど、これ非常にまあ努力されてこういういい数字が出たでないかと思っておりますが、どのような努力のなかでこれだけの不用額を出されることができたかお尋ねいたします。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） はい、竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） 担当課からお答えいたします。

- 水道課長（野口 尚登君） 議長、水道課長。
- 議長（杉谷 洋一君） 野口水道課長。
- 水道課長（野口 尚登君） お答えします。3月の補正で減額をもとということも考えておりましたけれど、31日年度末まで、施設がどういう状況になるかわかりませんので、汚泥処理のための手数料等を残した関係でこういう不用額が発生したものであります。
- 議員（9番 野口 昌作君） 議長、9番。
- 議長（杉谷 洋一君） 9番、野口昌作議員。
- 議員（9番 野口 昌作君） それにあたって何か特別な対策をとってこういういい数字が出たかということをお尋ねするわけですが。
- 水道課長（野口 尚登君） 議長、水道課長。
- 議長（杉谷 洋一君） 野口水道課長。
- 水道課長（野口 尚登君） 汚泥の減量化につきましては、いろいろ試験的にはやっております。農業集落排水につきましては、以前もお話をしたことがあると思いますが、養父市の酵素水等を使いましてですね、減量化、この試験をやっている最中でありませぬ。
- 議員（9番 野口 昌作君） 分かりました。
- 議長（杉谷 洋一君） その他、質疑ありませんでしょうか。
- [「なし」と呼ぶ者あり]
- 議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。
-

日程第 13 議案第 113 号

- 議長（杉谷 洋一君） 日程第 13、議案第 113 号 平成 28 年度大山町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。
- これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。
- [「なし」と呼ぶ者あり]
- 議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。
-

日程第 14 議案第 114 号

- 議長（杉谷 洋一君） 日程第 14、議案第 114 号 平成 28 年度大山町風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。
- これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。
- [「なし」と呼ぶ者あり]
- 議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。
-

日程第 15 議案第 115 号

○議長(杉谷 洋一君) 日程第 15、議案第 115 号 平成 28 年度大山町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 16 議案第 116 号

○議長(杉谷 洋一君) 日程第 16、議案第 116 号 平成 28 年度大山町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 17 議案第 117 号

○議長(杉谷 洋一君) 日程第 17、議案第 117 号 平成 28 年度大山町索道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。歳入歳出全般について、質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 18 議案第 118 号

○議長(杉谷 洋一君) 日程第 18、議案第 118 号 平成 28 年度大山町水道事業会計決算の認定についてを議題にします。

これから質疑を行います。収入支出全般について、質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 19 特別委員会の設置及び付託

○議長(杉谷 洋一君) 日程第 19、特別委員会の設置及び付託についてを議題とします。お諮りします。

本議会に提出されました議案第 102 号から議案第 118 号までの 17 議案については、16 人の委員で構成します「平成 28 年度決算審査特別委員会」を設置し、これに付託して審査することにしたいと思います。ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 異議なしと認めます。

したがって、議案第 102 号から議案第 118 号までの 17 議案は、16 人の委員で構成する「平成 28 年度決算審査特別委員会」を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

お諮りします。ただいま設置されました「平成 28 年度決算審査特別委員会」の委員の選任については、委員会条例第 7 条第 1 項の規定によって 16 人の全議員を指名したいと思います。ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 異議なしと認めます。

したがって、「平成 28 年度決算審査特別委員会」の委員は、議員全員を選任することに決定しました。

○議長(杉谷 洋一君) ここで休憩いたします。再開は 1 時からとします。1 時からですね、決算審査特別委員会を開いて委員長・副委員長の互選を行います。

休憩のあと委員は、議員控室に移動してください。以上休憩いたします。

すみません、慌てましたので、まだ時間があります。

ここで決算審査委員会を開いて委員長、副委員長の互選を行います。議員は控室のほうに移動してください。

再開は 1 時からということにしますので、よろしくお祈いします。以上です。

午前 11 時 50 分休憩

午後 1 時再開

日程第 20 特別委員会委員長及び副委員長の互選結果の報告

○議長(杉谷 洋一君) 再開します。

日程第 20、特別委員会委員長及び副委員長の互選結果の報告を行います。

ただいま設置になりました「平成 28 年度決算審査特別委員会」の委員長に米本隆記議員、副委員長に加藤紀之議員が互選されました。

日程第 21 議案第 119 号

○議長(杉谷 洋一君) 日程第 21、議案第 119 号 平成 29 年度大山町一般会計補正予算(第 2 号)を議題にします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

○議員(14 番 野口 俊明君) 議長、14 番。

○議長(杉谷 洋一君) 14 番 野口 俊明議員。

○議員(14 番 野口 俊明君) 一般会計からの持ち出しから、今の補助金がついた、例えば学校施設整備の国庫補助金というのが、新規で今回計上できたということで、一般会計からの持ち出しがなくなったというか、少なくなったようではありますが、どうい

ような状況からこういう、うまくこうなったのかそこらへんのご説明をお願いします。

○教育長(鷺見 寛幸君) 議長、教育長。

○議長(杉谷 洋一君) 鷺見教育長。

○教育長(鷺見 寛幸君) 担当課が説明いたします。

○幼児・学校教育課長(森田 典子君) 議長、幼児・学校教育課長。

○議長(杉谷 洋一君) 森田幼児・学校教育課長。

○幼児・学校教育課長(森田 典子君) 野口議員さんのご質問の答えいたします。

学校の整備費の関係ですけれども、年度当初、当初と言いますか、これは6月補正をしたものですけれども、今年度学校施設の整備ということで、中山中学校の空調設備、それから名和中学校の武道館の吊り天井の工事と、2つの大きな工事を6月の補正予算で計上させていただきました。それにあたりまして、国のほうの補助が見込めるかどうかというところがポイントになっておりましたが、補正予算であげる時点では、4月に国のほうからの内示というのがありましてその4月の段階では、対象としないという内容でございました。その流れのなかで6月補正をあげるのに財源としまして、過疎債を対応して6月に補正予算をしたという経過がございます。そのあと8月になりまして、国のほうから2回目の内定というのがございました。その2回目の内定におきまして、今度はその中山中学校と名和中の大山町が手を挙げておりました学校施設の整備につきまして、国の内定の対象になったということが8月に入ってから、県を通じて連絡があったという経過でございます。

そうしたなかで今回の9月の議会におきまして補正予算としまして財源内訳の変更、国から見込まれます学校施設の国庫補助の金額を計上し、過疎債であげておりました財源のほうをその分減額をするという補正予算を計上させていただいたところでございます。以上です。

○議員(14番 野口 俊明君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 14番 野口俊明議員。

○議員(14番 野口 俊明君) 本当に良かったと思うんですけど、結局、当初の計画の時には、そういう国の中で補助金というものがあるということを知っておられたのか、または知らなかったのか、執行部の皆さんも。そこらへんは。急に今年度になって国が補助金対象の種類に入れたのか、そこらへんのことはちょっと教えてをお願いします。

○幼児・学校教育課長(森田 典子君) 議長、幼児・学校教育課長。

○議長(杉谷 洋一君) 森田幼児・学校教育課長。

○幼児・学校教育課長(森田 典子君) お答えいたします。学校施設整備につきましての補助金は毎年国のほうに各町村から要望を出して手挙げをしておくという流れがございます。そのなかで国から、ではこれを対象としますという予算配分も含めまして、国の予算が決定した後で連絡がくると、中には手挙げをしておいても対象とならないとい

うことは毎年あることでございます。

ですので、28年度の事業におきましても大山町ではこの事業を行うということは最初から計画を、予算編成の時からそういったことは検討しておりまして、で、補正予算では上げましたけれど、その事業をするということは28年度の計画として考えておりました。ですけれども予算措置につきましては、国から財源がきちんと補助金が受けられるということがないと、見込みで財源を充てにすることはできませんので、そのことがきちんと国のほうから内定があった時点で財源内訳の変更を行うということもありというような考え方で今年度、こういった予算措置を計上させていただいたということでございます。

○議員(14番 野口 俊明君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 14番 野口俊明議員。

○議員(14番 野口 俊明君) 今、お伺いして、本当にまちにとってもいいことですし、今後教育関係にしても執行部関係にしても、事業されるうえにおいては、いろんなそのあれのなかでやっぱり有利なことができるような調査、研究をしっかりとさせていただきたいなと思っておりますが、まあこれは町長のほうにも言えることですから、教育部局のそこらへんの見解を少しだけ聞いて終わりにしたいと思えます。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 野口議員ご指摘のとおり、有利な国や県の補助制度などを最大限活用して事業を進めていきたいと思っております。

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんか。

○議員(3番 門脇 輝明君) 議長、3番。

○議長(杉谷 洋一君) あ、ちょっとまってください。

○教育長(鷺見 寛幸君) 議長、教育長。

○議長(杉谷 洋一君) 鷺見教育長。

○教育長(鷺見 寛幸君) 教育委員会としましてもいろんな整備、これからもいろいろな事業整備等あると思えます。いろいろと精査しながら進めていきたいというふうを考えております。ありがとうございました。

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんか。

○議員(3番 門脇 輝明君) 議長、3番。

○議長(杉谷 洋一君) 3番 門脇議員。

○議員(3番 門脇 輝明君) 町長の選挙公約であります高等学校通学費の補助事業についてお伺いしたいと思います。

教育に対する投資は非常に大事だと思いますので、有りがたいなと思っておりますけれども、ひとつは、約年間にしますと約1,700万という費用が掛かるこの財源について

お伺いしたいと思います。それからこの事業に対して求める、町として求める、成果の指標ですね、どういった指標が、考えていらっしゃるのかこれを教えていただきたいと思います。私としては指標としては子供たちの高学力の向上であるとか、あるいは職業選択の幅の拡大であるとか、そういった子どもたちに直接関わるような指標があればいいなと思っておりますけれど、そういったものでお答えいただければと思います。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) この高校生の通学費助成は子供の教育というよりも移住定住策ということで、大山町に住んでおられる方が米子に高校に、子供が高校になった時に米子の高校に通うので通学費がかさむということで、子育てをする、あるいは家を建てるような段階で米子に出てしまうのを防ぐために移住定住策としてやっていくものですので、成果の指標としましては、移住定住にどの程度結びついたのかをチェックしていきたいというふうに思っています。詳細は担当課からお答えします。

○企画情報課長(井上 龍君) 議長、企画情報課長。

○議長(杉谷 洋一君) 井上企画情報課長。

○企画情報課長(井上 龍君) 失礼します。あと財源の話がございました。財源は全体的なこととして、今のところは、一般財源で対応するというようなこととございます。

あと成果の指標ですけど、具体的な何人移住とかがっていうのはまだ決めておりません。

○議員(3番 門脇 輝明君) 議長、3番。

○議長(杉谷 洋一君) 3番 門脇議員。

○議員(3番 門脇 輝明君) 指標につきましては決まりましたらまた議員のほうにご報告をいただければありがたいと思います。それから、財源について一般財源ということですけど、余裕のある財源ではないと思いますので、たぶんいろんなこれまであった事務事業の見直しというふうな方向から考えられるんじゃないかなと思っておりますけど、見直しにつきましては、現在受給をしておられる方もあるわけですから、しっかりその方の納得いかれるような見直しという観点からやっていただきたいなと思っております。

町長、お願いします。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) ご指摘のとおり財政もそんなにどれだけお金を使ってもというような状態ではないと思いますので、事業の見直しを含めながら全体の調整でしっかりと財源を作っていきたいと思っています。

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんでしょうか。

○議員(8番 大森 正治君) 議長、8番。

○議長(杉谷 洋一君) 8番 大森議員。

○議員(8番 大森 正治君) 今の門脇議員のこの高等学校の通学費の定期の助成、私もちょっとこれが質疑したいと思っておったところですけど、関連して質疑させていただきます。

ちょっとその前にですけども、まあ町長の公約どおりスピード感をもって、9月議会に提案されたってことは評価したいと思います。

やっぱりこういう、先ほどありましたように子育てという、強気の面もあるんでしょうけども子育ていう子育て支援という重要な観点があるかと思っております。そういう意味で私も大いに評価をしておるわけですけども、これをですね、保護者は非常に喜ばれるし、またそれによって高校生も将来、やはり大山町そういうふうな策をしてくれたかということで、町への思い入れっていうことも、やはり高校生ともなれば、芽生えますから、ありますから、町長も先ほどおっしゃったようなふるさとへ定住する、あるいは出てもまた返って来ようかという思いにはつながるってことをまあ期待したいわけですけど。そういう意味からね、恒久的な事業にやっぱりこれはしたいなど、一時のものではなくて。そういう思いがします。

そこで財源の事を今言われましたけども、やはり何に使うかっていうことですので、町民の皆さんが喜ばれることは大いにやっていいじゃないかというふうに思うんですよ。ばらまきという、一方ではそういうことを言われる人もあるわけですけども、ばらまきってなんだろうと思えますけども。やはり住民のみなさんが、町民の皆さんが喜ばれることなら、優先して予算化すべきじゃないかなという気が私はします。

それでですね、聞きたいのは、財源の話は今分かりましたからいいですけども、もう一つですね、これはですね、半額助成のわけですけども、半額、それだけでも本当に前進だと思っておりますが、できるなら、中途半端という言い方は悪いですけども、やっぱりさらに踏み込んで全額助成にもっていった方がいいんじゃないかなという気がするんですけども、将来、そういう考えはないでしょうか、将来的にはそれも考えているというようなことはないでしょうか。。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) お答えします。先ほどの門脇議員への財源の話にもちょっと関係してくると思うんですけども、現在のところでは全額の助成をするという考えはありません。理由としましては、全額助成にしますと、通学の定期券の助成になるわけで、ある程度やっぱり個人負担がないとですね、言葉は悪いですけども、必要がない人まで買ってしまわないとか、いろいろ制度を悪用ではないですけども、そういうような懸念もありますので、一部の費用負担は残しながらいこうという考えです。

あとですね、郡部の方の町村、あるいは町村長さんとお話をしていると、現在、南

部町、江府町あたりも通学費助成しておりますが、高校はほとんどが県立高校で県の都合でこのへんですと米子市にほとんど集中しているような形です。で、その県の都合で米子に集中させている県立高校に通うために町村がその費用負担をしないとイケないのかっていう話にもなりますので、県にこの郡部の町村あたりでしっかりと声を上げながら、県が高校生の通学費助成の財源をある程度出してもらえりような働きかけも合わせてしていきたいなというふうに考えています。

○議長(杉谷 洋一君) よろしいですか。

○議員(8番 大森 正治君) 議長、8番。

○議長(杉谷 洋一君) 8番 大森議員。

○議員(8番 大森 正治君) 全額助成を今のところ考えていないということですけど、まあその理由としてはすごく消極的な理由だというふうに思いました。悪用する人もいるんじゃないかと。まあそれではもともともないんであって、そこらへんは厳しくチェックできるわけですから、将来を考えていく必要もあるかなというふうには思うんですよ。さっき町長もおっしゃったようにこれ都市部の高校の近くに住んでいる高校生、それから大山町のような郡部のほうに住んでいる高校生、どうしても高校になる年を迎えな、イケないわけですから、その格差というのはやっぱり大きいものがありますよね。結構、通学費の負担というのは大きくて、教育費のなかでもかなりの部分を占めるということも私も実際に試算してみても分かってはいるんですけども、それだけに全県的な課題だろうと思いますので、大いに県のほうにもこれは要求していくべきではないかなというふうに私も感じておりました。

その点で大いに町長のそういう決意を実現したいと思っておりますけれども、再度、全額助成は難しいのか、あってもいいんじゃないかと。県のほうが補助するならば、それも考えられるんじゃないかというふうに思いますが、いかがでしょう。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 最初にお答えしたとおりですけれども、財源の問題ですとか制度のチェックの仕方ですとか、そういったところで懸念が払しょくされれば補助の割合を変えるようなことも考えられると思いますが、現状で財源の問題ですとか、制度の問題でなかなかいいものが思いつきませんので、もうちょっといろいろと研究をしていきたいと思っております。

○議長(杉谷 洋一君) その他、質疑ありませんか。

○議員(9番 野口 昌作君) 議長、9番。

○議長(杉谷 洋一君) 9番 野口 昌作議員。

○議員(9番 野口 昌作君) 今回の補正で、イノシシ、他にもですけど鳥獣のですね、解体処理施設というものを3,500万、3,800万ぐらいですか、かけてつくるという補正

予算が計上されてまして、非常にいいことだなど、被害を被っている方からすれば、イノシシ等の捕獲が進むでないかというぐあいに思ったりします。非常にいいことだと思いうわけでございますけれど、この中にイノシシのんだとすれば、イノシシの購入費というようなことは見て無いような感じを受けるわけでございますけれど、捕ってきたものをどういう具合な価値で、その捕ってこられた人に払うかというようなことはどういうぐあいに考えておられるかお尋ねいたします。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えさせていただきます。

○農林水産課長(末次 四郎君) 議長、農林水産課長。

○議長(杉谷 洋一君) 末次農林水産課長。

○農林水産課長(末次 四郎君) ただいまのご質問にお答えいたします。

まず今回の補正予算ではまだ建設整備の 29 年度ですのでそういった予算は計上しておりません。それで来年度以降の話になるわけですが、ひとつは狩猟期におきましては、だいたい 1 キロあたり 800 円程度で購入を、それは運営主体のほうで購入をしていただくということで、町が購入するというわけではございません。あと有害期につきましては、捕獲奨励金に関係してくるわけですが、そこらへんの見直しも含めて、捕獲してきていただいたものを例えば 1 頭当たり 5,000 円だとか、そういった面でそこらへんで検討していきたいなというふうに思っております。以上です。

[「分かりました」と呼ぶ者あり]。

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんか。

○議員(4 番 加藤 紀之君) 議長、4 番。

○議長(杉谷 洋一君) 4 番、加藤議員。

○議員(4 番 加藤 紀之君) 予算書 16 ページ、民生費、右下のほうにおいていただいて保育所修繕料というのがあります。それからその次のページ、すぐ下においてリースペース活用プラン策定委託料というのがありますけれど、この 2 点、予算書、補正予算の概要については載っていないのでどういうものか教えていただきたいと思います。

○教育長(鷺見 寛幸君) 議長。教育長。

○議長(杉谷 洋一君) 鷺見教育長。

○教育長(鷺見 寛幸君) 担当課がお答えいたします。

○幼児・学校教育課長(森田 典子君) 議長、幼児・学校教育課長。

○議長(杉谷 洋一君) 森田幼児・学校教育課長。

○幼児・学校教育課長(森田 典子君) 加藤議員さんのご質問にお答えいたします。

修繕料と委託料の内容についてのお答えをいたします。

まず修繕料のほう 276 万 4,000 円の修繕料ですが、この内容としましては、2 点、2

つ内容がありまして、まず一つは、大山きゃらぼくの保育園でございます。大山きゃらぼく保育園の年中クラスの部屋を、パーテーションを設置して区切るということで、パーテーションを設置する修繕という内容が一つ、259万2,000円の予算でございます。

それからもう一つは大山保育所ですけれども、最近になりましてガス給湯器が故障いたしました。17年使用しておりました給湯器でございます、もう部品もなく、買い替えと言いますか、全体的に直すという修繕が必要ということで、この分が17万2,000円の予算であります。

続きましてその下の委託料、フリースペースの活用プラン策定委託料ということですが、これにつきましては午前中の28年度決算におきまして寄付金のご質問がありました。そこで匿名の方から名和さくらの丘保育園で使ってくださいというお気持ちで寄付を御受けしたということが午前中ありましたわけですが、その寄付金を名和さくらの丘保育園のほうでここにあげましたフリースペースの活用プランというのを園のほうで計画をいたしましてこの予算を計上させていただいたところでございます。

内容としましては、園のなかに絵本コーナーとか、遊び場コーナーというちょっと出窓になったコーナーがございます、そののところに子供たちによくデパートなんかでキッチンとか台所関係、それからいろいろ子どもたちが模倣して遊ぶようなものが設置されておるかと思うんですが、そういったコーナーを名和保育所にも設置をして保育環境を充実させようといったようなことで、このフリースペースの活用をするということを計画しまして予算計上をしておるものでございます。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんか。

○議員(5番 大原 広巳君) 議長、5番。

○議長(杉谷 洋一君) 5番 大原議員。

○議員(5番 大原 広巳君) 19ページの農林関係の予算です、園芸産地活力増進事業補助金というのが出ております。来年、転作の割り当てがなくなるということで、まあ新たな品目も含めて模索する事業の一環で、県の単独事業だと思いますが、ちょっとこの説明ほどでは内容がちょっと分かりかねます。野菜や花き等の振興を図るためと書いてありますが、具体的な内容をちょっと教えてください。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○農林水産課長(末次 四郎君) 議長、農林水産課長。

○議長(杉谷 洋一君) 末次農林水産課長。

○農林水産課長(末次 四郎君) はい、お答えいたします。内容としましては、4軒の

方がこの制度を活用する予定になっております。一つは、ハウスの整備でして、新しく農作物としましてトマトなりアスパラガスなり、そういったものを新規で栽培されるというふうでございます。それとあと自然薯の栽培を取り組まれている方が、既に取り組まれている方がいらっしゃるわけですが、その方が新たな技術的なところで杭打機ですか、自然薯が育てやすいようにするための機械を整備されるという内容でございます。

○議員（5番 大原 広巳君） 議長、5番。

○議長（杉谷 洋一君） 5番 大原議員。

○議員（5番 大原 広巳君） 本来そういう補助金絡みの事業として頑張る農家プランとか、認定農業者を対象にしてやってる事業は当然継続してあるんですけども、今回のことはどんなですかいな。認定農業者に限定してなくてやってる事業ですよ。ちょっと確認です。

○農林水産課長（末次 四郎君） 議長、農林水産課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次農林水産課長。

○農林水産課長（末次 四郎君） 今、大原議員仰いますように、認定農業者の方に限定した事業ではございませんで、新たな技術的な導入でありましたり新規品目を導入されるということに対して支援をするものでございます。以上です。

○議員（5番 大原 広巳君） 議長、5番。

○議長（杉谷 洋一君） 5番 大原議員。

○議員（5番 大原 広巳君） 来年で転作の割り当てがなくなるということで、農林水産課のほうで新たな進行作物みたいなものがですね、もし検討としてされておれば、今日皆さんみておられますので参考になると思いますので、もしそういう情報があったら教えてください。

○農林水産課長（末次 四郎君） 議長、農林水産課長。

○議長（杉谷 洋一君） 末次農林水産課長。

○農林水産課長（末次 四郎君） 現時点では、新たな振興策作物というものより、既に産地として育てておりますブロッコリー、白ネギ、その他スイートコーンなり、既に生産者の皆さんで育てていただいた産地をいかに守っていくのかと、そういった視点でそれなりに関係機関で支援を引き続きおこなっていきたいというふうに思っています。

以上です。

○議長（杉谷 洋一君） 他に質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 22、議案第 120 号 平成 29 年度大山町開拓専用水道特別会計補正予算（第 1 号）を議題にします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（杉谷 洋一君） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 23 議案第 121 号

○議長（杉谷 洋一君） 日程第 23、議案第 121 号 平成 29 年度大山町夕陽の丘神田特別会計補正予算（第 1 号）を議題にします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

○議長（14 番 野口 俊明君） 議長、14 番。

○議長（杉谷 洋一君） 14 番 野口 俊明君。

○議長（14 番 野口 俊明君） 歳出のなかです、手数料の 32 万 6,000 円があるわけですが、この内容としてはバイオ汲み取り量増のためということではありますが、これは今現在必要なのかと。結局この年でいっぱいの方をこれだけ考えておられるのか、この増でいいと思っておられるのか、そこらへんちょっとお伺いしたいなと思います。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） 担当課からお答えいたします。

○観光商工課長（持田 隆昌君） 議長、観光商工課長。

○議長（杉谷 洋一君） 持田観光商工課長。

○観光商工課長（持田 隆昌君） ただいまの質問にお答えさせていただきます。

既にバイオトイレ今年 5 月と 6 月に 2 回汲み取りをさせていただいておまして、この時点で今年度の予算をほぼ消化してしまいます。ということであると、3、4 回は最低でも必要だろうということで、残りの今年度分の見積もりを今回補正で計上させていただくものです。よろしく願いいたします。

○議長（14 番 野口 俊明君） 議長、14 番。

○議長（杉谷 洋一君） 14 番 野口 俊明君。

○議長（14 番 野口 俊明君） まあ全協の中で今の夕陽の丘神田のいろんな面の見直し等が、修繕とかなんか今後のものを出されているなかで、バイオトイレの関係なんか、これ以外のものでもお金が掛かることが出ておるわけではありますが、いろんな面で予測不可能なこともあろうと思うわけではありますが、そもそもこのバイオトイレ自体をですね、止めて今の下水のほうに、処理場が、処理施設があるわけですが、そっちにつながれたほうが、私は将来的に安くあがるような気がするわけで。もっとそれからトイレの数自体が、今大会をやられた時には、本当に休憩時間にトイレにいかれりゃあ、選手も

いわゆる応援団も皆さんが殺到するというわけで仮設トイレまで用意されるということでもあります。今の場所を変えてでも、そういうような恰好で今のトイレの位置なんかは観覧席に必要なぐらいの状況もあるというようなことを我々見聞きしておるわけですが、最終的にそういう計画等も考えて見られたほうがいろんな予測できんことが起きてくるでないかなと思っておるわけですけど、そこらへんについてはどうでしょうか。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) お答えいたします。ご指摘の通りですね、山香荘のバイオトイレ度々問題になっております。で、長期的にこれを活用していくにはどういうふうなトイレを整備すればいいのか、あるいは現状でいくのか、そういったことをしっかり検討して将来的にコストを比較して、どちらが安くなるか、あるいは利用者にとってどちらが利用しやすいかというようなところを考えまして将来的な計画を立てていきたいなというふうに思っています。

○議長(14番 野口 俊明君) 議長、14番。

○議長(杉谷 洋一君) 14番 野口 俊明君。

○議長(14番 野口 俊明君) 町長、前向きなお話を聞かせていただいたわけですが、私、本当にこれができる年数が経ってきていますが、本当にできた時からいろんなトイレ等に関しては問題がすぐから始まったわけですから、なるべく早くですね、検討されていかれたほうが、せっかく今を見てますと、大山わが町に山香荘に来ていただいている人が増えて、ずっと来ておるわけですから、是非是非、評判を落として帰られることが、なるべく早く解消できる方法をお願いしたいと思うわけですが、どうですか。これ最後の質問です。

○町長(竹口 大紀君) 議長。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) やはり利用者の方にいい印象をもってもらって帰っていただいて、また利用していただくというのが基本だと思いますので早急に検討したいというふうに思っております。

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 24 議案第 122 号

○議長(杉谷 洋一君) 日程第 24、議案第 122 号 平成 29 年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第 1 号)を議題にします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

○議員（9番 野口 昌作君） 議長、9番。

○議長（杉谷 洋一君） 9番 野口昌作議員。

○議員（9番 野口 昌作君） これの収入のほうが診療報酬でみてございます。収入診療報酬でみるのはいいですけども、経営のなかで、診療報酬がどんどん増えているという状況にあったりして、これ、まあ少額ですから、36万ですか、みれるわけですけども、その状況というものが進んでいるか、いい方向に向かっているかということをちょっとお尋ねいたします。

○町長（竹口 大紀君） 議長。

○議長（杉谷 洋一君） 竹口町長。

○町長（竹口 大紀君） 担当課からお答えいたします。

○健康対策課長（後藤 英紀君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 後藤健康対策課長。

○健康対策課長（後藤 英紀君） 野口議員さんのご質問にお答えいたします。

今回補正予算の財源として診療報酬の増ということで対応いたしております。これは大山診療所の修繕に関わりがあるものでございますので、大山診療所の報酬増ということで対応いたしますが、大山診療所につきましては、今年に入りましてから、月別の患者数が伸びておりまして、その関係で診療報酬も今後増になるというふうなことで、特に国保会計の診療報酬のほうが増えておりますので、そちらのほうを充てるようにしております。

〔「分かりました」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉谷 洋一君） 他に質疑ありませんか。

○議員（13番 岡田 聰君） 議長13番。

○議長（杉谷 洋一君） 13番 岡田議員。

○議員（13番 岡田 聰君） 歳出のほうでインターネット加入負担金、これが補正であげられた理由をお願いいたします。

○健康対策課長（後藤 英紀君） 議長、健康対策課長。

○議長（杉谷 洋一君） 後藤健康対策課長。

○健康対策課長（後藤 英紀君） 岡田議員さんのご質問にお答えいたします。大山診療所につきましては、毎日レセプト処理ということでコンピューターの情報を新しいものに更新しておりますが、実は大山診療所のほうにはADSLと言いますか、今、現在はNTTの回線を使って通信を行っておりますけども、そのADSLという高速回線がございませんで、現在高速回線としてありませんので、いつもデータの更新に相当数の時間を要しております。そのために診療に影響がありますもので、これをなるべく早いものにしたいということで、現在大山診療所にっておりますものは、光ケーブルがございませんので、それを活用してその負担金として今回、利用させていただこうというもの

でございます。

○議長(杉谷 洋一君) 他に質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 25 議案第 123 号

○議長(杉谷 洋一君) 日程第 25、議案第 123 号 平成 29 年度大山町介護保険特別会計補正予算(第 2 号)を議題にします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 26 議案第 124 号

○議長(杉谷 洋一君) 日程第 26、議案第 124 号 平成 29 年度大山町公共下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)を議題にします。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

○議員(9 番 野口 昌作君) 議長、9 番。

○議長(杉谷 洋一君) 9 番 野口昌作議員。

○議員(9 番 野口 昌作君) これでですね、松河原線ですね、県道の工事のためにいろいろ物件を移転するということになっておりますが、これと絡めてでしょうけれども、長野城に調査が入ってございましたが、この工事はどこからどこまでを工事をやるという計画の中で、この下水道の移転と、長野城の発掘というものが出てくるわけですか。ちょっとそのへんをお尋ねします。

○教育長(鷺見 寛幸君) 議長、教育長。

○議長(杉谷 洋一君) 鷺見教育長。

○教育長(鷺見 寛幸君) 担当課がお答えいたします。

○人権・社会教育課長(西尾 秀道君) 議長、人権・社会教育課長。

○議長(杉谷 洋一君) 西尾人権・社会教育課長。

○人権・社会教育課長(西尾 秀道君) ただいまのご質問にお答えできる範囲でお答えしたいと思います

県道・松河原名和線のごく一部ですね、旧でいきますと、中山と名和の境目あたりに長野城は所在しております、そのこの部分の道路の工事ということで、今オーバーハング場になっておりますところをカットしてというところがございます。その部分が発掘調査ということになります。

ただ、どの区間というのは工事番号とかいうのは控えておりませんので申し上げるこ

とはできませんけれど、そこのごく一部の区間ということでございます。だいたい 200 平米相当を予定しております。以上です。

○議長(杉谷 洋一君) よろしいですか。9 番、野口議員。

○議員(9 番 野口 昌作君) 水道の関係はどの辺の移転になるわけですか。

○議長(杉谷 洋一君) 竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 担当課からお答えいたします。

○水道課長(野口 尚登君) 議長、水道課長。

○議長(杉谷 洋一君) 野口水道課長。

○水道課長(野口 尚登君) お答えします。このたび補正に計上しておりますのは、木の根神社の駐車場の前あたりになります。全体の工事については詳しくは把握しておりません。

○議長(杉谷 洋一君) よろしいですか。他に質疑ありませんか。

[「なし」と呼者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

日程第 27 議案第 125 号

○議長(杉谷 洋一君) 日程第 27、議案第 125 号 平成 29 年度大山町水道事業会計補正予算(第 2 号)を議題にします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

散会報告

○議長(杉谷 洋一君) 以上で、本日の日程は全部終了しました。

次会は 9 月 20 日に会議を開き、一般質問を行いますので、午前 9 時 30 分までに、本議場に集合してください。

[「議長」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) 発言の訂正が執行部ありましたので、これを認めます。

竹口町長。

○町長(竹口 大紀君) 失礼します。

議案第 122 号で健康対策課長が説明しました、インターネット回線 ADSL というふうに申しておりましたが、ISDN が正しい回線です。よろしくお願ひします。

○議長(杉谷 洋一君) 町長のほうから訂正発言がありました。これを認めてよろしいでしょうか。

[「いいです」と呼ぶ者あり]

○議長(杉谷 洋一君) じゃあ、認めます。

本日はこれで散会します。どうも皆さん御苦労さんでした。

午後 1 時 45 分散会

